

地域に生き、世界に伸びる

2023 University Guide
大学案内



熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

「未来のわたし」を創る場所

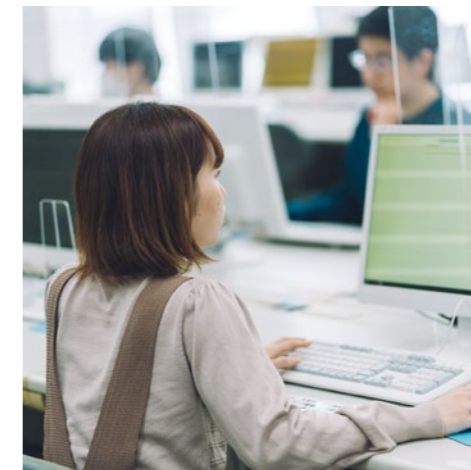
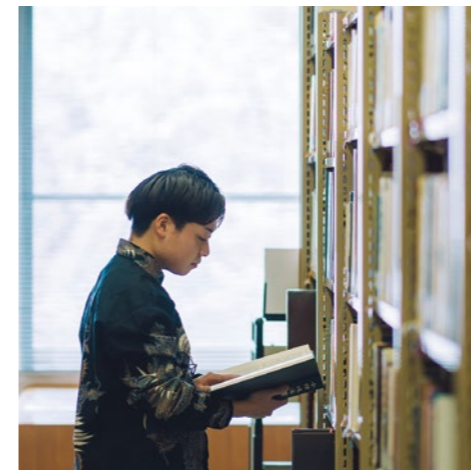


熊本から世界へ羽ばたく

熊本県立大学は、文、環境共生、総合管理の3学部3研究科からなり、人文科学系、自然科学系、社会科学系の3つが有機的に結合した先進的な「集約型大学」です。

また、「地域実学主義」を教育理念とし、「理論を現場に学ぶ」体験的、実践的学修方法であるフィールドワークや、地域課題解決と教育を結び付けた「もやいすと」育成プログラムなど、現場に学び実践力を育むための教育を展開する特色ある大学です。

この大学に学び、地域に根ざし世界に向かって羽ばたこうとする知的探究心旺盛な学生を求めています。



■ 熊本県立大学の〈理念〉

総合性への志向

本学は、人文・社会・自然の学問の三分野から成る大学として、学際的な方法を重視しつつ、総合的な知の形成を目指す。

地域性の重視

本学は、「地域に生き、世界に伸びる」を標榜し、地域社会に開かれた大学として、当面する諸問題を分析し解決すること、地域の知的創造の拠点となることを目指す。

国際性の推進

本学は、グローバル化に対応して、アジアをはじめ世界の多様な文化を学びつつ、諸外国の人々との交流を進め、国際的・多元的な文化の創造を目指す。

■ 熊本県立大学の〈目的〉

熊本県立大学は、豊かな教養と高度な専門性を有し、総合的な知識と実践力、創造力を備えた有為な人材を育成するとともに、研究成果を社会に還元し、教育研究資源を地域に提供することを通じて、熊本県ひいては国際社会の発展に寄与することを目的とする。

Contents

大学の理念・目的	2
理事長・学長メッセージ	4
学部教育の特長	6
特色ある教育	7
地域に生きる	10
世界に伸びる	16
共通教育センター	21

文学部	24
日本語日文学科	26
英語英米文学科	30
環境共生学部環境共生学科	34
環境資源学専攻	36
居住環境学専攻	40
食健康環境学専攻	44
総合管理学部総合管理学科	48

大学院	56
教員一覧	58
キャリアサポート・学修支援	60
学生生活	67
キャンパスマップ	74
キャンパス周辺情報	76
学費・奨学金・経済支援	77
入試情報	78



公立大学法人熊本県立大学

理事長 **白石 隆** Ph.D.(歴史)
Shiraishi Takashi

世界は急速に変わっています。AI(人工知能)、IOT(もののインターネット)、ロボット、量子技術など、いま、我々の生活を革命的に変えるといわれる最先端技術は、かつてのインターネット、スマートフォンなどと同様、10~20年後には、ごくあたりまえのものとして、我々の生活に入っていると思います。新型コロナウイルスも、すでにいろいろなかたちで、私たちの生活を変えつつあります。また、ロシアのウクライナ侵略、中国の超大国化も、世界の政治経済を大きく変えるでしょう。そうした中、グローバル化は(かたちを変えつつ)これからも進展し、国、都市、企業、個人、それぞれのレベルで、ますます競争は厳しくなると思います。みなさんはそういう大きな変化の時代を生きていくことになります。そのためには、変化に柔軟に対応して、次々といろいろなことを学び、自分が何をしたいか、よくわかった上で、そのために、学んだことを自分のものとして使っていく、そういう広い意味での考える力、学ぶ力、応用する力が要ります。大きな高い建物を建てたいと思えば、しっかりと広い土台を作らなければなりません。そのためには、いろいろな先生の講義を聞き、さまざまな古典を読み、自分でプロジェクトを構想して実施し、フィールドに出て実地に作業し、多くの人たちと話し、学ばなければなりません。英語も読み書き話せるようになる必要があります。本学はみなさんがそういう土台を作る、そのための場です。将来、大学ですごした4年間を充実した時間だったと振り返れるよう、ぜひ、大学という場を活用してください。

沿革

- 1947(昭和22)年 4月 専門学校令により熊本県立女子専門学校創立(熊本城内)
- 1949(昭和24)年 4月 熊本女子大学開学
学芸学部/文学部、生活学部
- 1950(昭和25)年 6月 熊本市大江町渡鹿に校舎移転(現:県立劇場敷地)
- 1953(昭和28)年 4月 文家政学部/文学部(国文学専攻、英文学専攻)、家政学科に名称変更
- 1960(昭和35)年 4月 文学部→英文学専攻、国文学専攻に分割改組
- 1963(昭和38)年 4月 家政学部→家政学科、食物学科に分割改組
- 1980(昭和55)年 4月 熊本市健軍町水洗(現:月出)に移転
文学部と生活科学部の2学部制とし学科改組
文学部/国文学専攻、英文学専攻、生活科学部/食物栄養学科、生活環境学科、生活経営学科に改組
- 1991(平成 3)年 4月 外国語教育センター設置
- 1993(平成 5)年 4月 文学研究科 日本語日本文学専攻(修士課程)/英語英米文学専攻(修士課程)設置
- 1994(平成 6)年 4月 名称を熊本県立大学に変更、男女共学化
国文学専攻→日本語日本文学専攻
英文学専攻→英語英米文学専攻に名称変更
総合管理学部/総合管理学科を設置
- 1998(平成10)年 4月 アドミニストレーション研究科(修士課程)設置

- 1999(平成11)年 4月 生活科学部を環境共生学部へ改組
環境共生学部/環境共生学科/生態・環境資源学専攻、居住環境学専攻、食・健康環境学専攻
- 2000(平成12)年 4月 アドミニストレーション研究科(博士課程)設置
- 2003(平成15)年 4月 環境共生学研究科(修士課程)設置
- 2005(平成17)年 4月 環境共生学研究科(博士課程)設置
- 2006(平成18)年 4月 公立大学法人熊本県立大学設立(法人化)
地域連携センター、学術情報メディアセンター設置
- 2008(平成20)年 4月 文学研究科日本語日本文学専攻(博士課程)設置
環境共生学部学科を改組し3学科体制となる
- 2009(平成21)年 4月 学生支援組織改組 キャリアセンター設置 保健センター設置
- 2010(平成22)年 4月 文学研究科英語英米文学専攻(博士課程)設置
- 2013(平成25)年 4月 文学研究科/英語英米文学専攻(博士課程)
- 2014(平成26)年 4月 地域連携センターを地域連携・研究推進センターに改組
- 2019(平成31)年 4月 環境共生学部学科を改組し現在の1学科3専攻となる
環境共生学部内に食育推進室を設置
地域連携・研究推進センターを地域連携政策センターに改組
- 2020(令和 2)年 4月 国際教育交流センター、IR室を設置
- 2021(令和 3)年 4月 全学教育推進センターを共通教育センターに改組
同センター内に緑の流域治水研究室設置
- 2022(令和 4)年 4月 デジタルイノベーション推進センターを設置
地域連携政策センターを地域・研究連携センターに改組

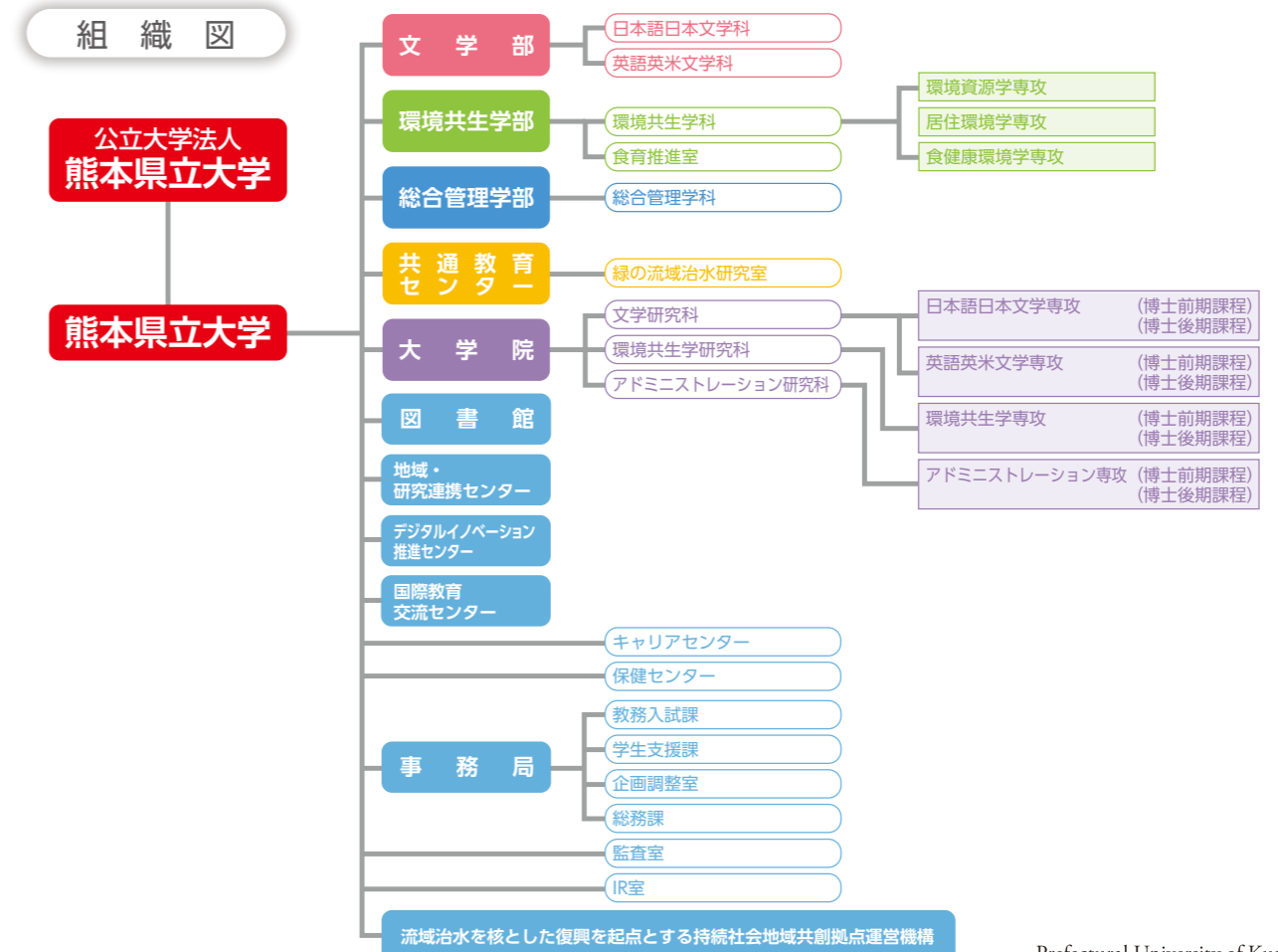


熊本県立大学

学長 **堤 裕昭** 博士(理学)
Tsutsumi Hiroaki

大学とは第一義的に言えば学問を真摯に学ぶ場所です。それは大学において経験できる最大限の価値のあることであり、その後の人生を有意義に生きていくための様々な力を授けてくれるものです。その「学びの場」で何を学ぶのか、県立大学としての教育・研究の特徴は、そのスローガンが示すように、「地域に生き、世界に伸びる」ための知恵と技(わざ)を学び、近未来の地域社会の持続的な発展にいかに関与していくのかについて、学生諸君と教職員が共に探求していくことにあります。ただし、この「地域」とは日々の生活圏に閉じ込められるものではありません。熊本地域、九州地域、西日本地域、日本、東アジア地域、環太平洋地域…、「地域」という定義は地球上の至るところへの広がりを有しています。また、個々の「地域」は孤立して存在するものではなく、相互に様々な関係を有し、人、物、文化が交流することで成立しています。そのため、それぞれの「地域」を発展させていくためには、我々は「世界に伸びる」力をあわせて育てていくことが必要です。

時代は常に動いています。2020年の始まりとともに波状的に繰り返される新型コロナウイルスの感染拡大は、地域社会のあり方に急激な変革をもたらしつつあります。学生諸君には、各個人の人生を豊かなものにするために、そして「この先の地域社会では何が必要とされるのか」を見据えて、その社会で活躍する人材に育ていくために、本学における日々の「学びの歩み」を進めていくことを望みます。



地域に生き、世界に伸びる

熊本県立大学は、創立から75年の歴史と伝統を礎に、新しい時代の要請にこたえる教育を展開し、あなたの持つ知的好奇心を満たし、時代を拓くたくましい想像力を育みます。そして、地域社会、ひいては国際社会の発展に貢献できる人材にあなたを育成します。

学部教育の特長

熊本県立大学は、豊かな教養を備え、21世紀の地域社会ひいては国際社会の発展に貢献できる創造性豊かな人材を育成します。

特に、学部教育においては、次の目標を掲げ、教育の充実に力を注いでいます。

- 1 幅広い知識・教養に基づき学問の意義を理解し、自己を認識して、将来を構想できる人材
- 2 多角的視点を備え、自ら課題を抽出し、論理的、分析的に思考して、総合判断ができる人材
- 3 地域社会及び国際社会に興味・関心を有し、異質性を認めることができる人材
- 4 積極性、自律性及び行動力を身につけ、社会状況の変化に柔軟に対応でき、社会において協調し協働できる人材
- 5 他者と理解しあい、共生していく上に必要なコミュニケーション能力がある人材

全学(学士課程)の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)より



特色ある教育

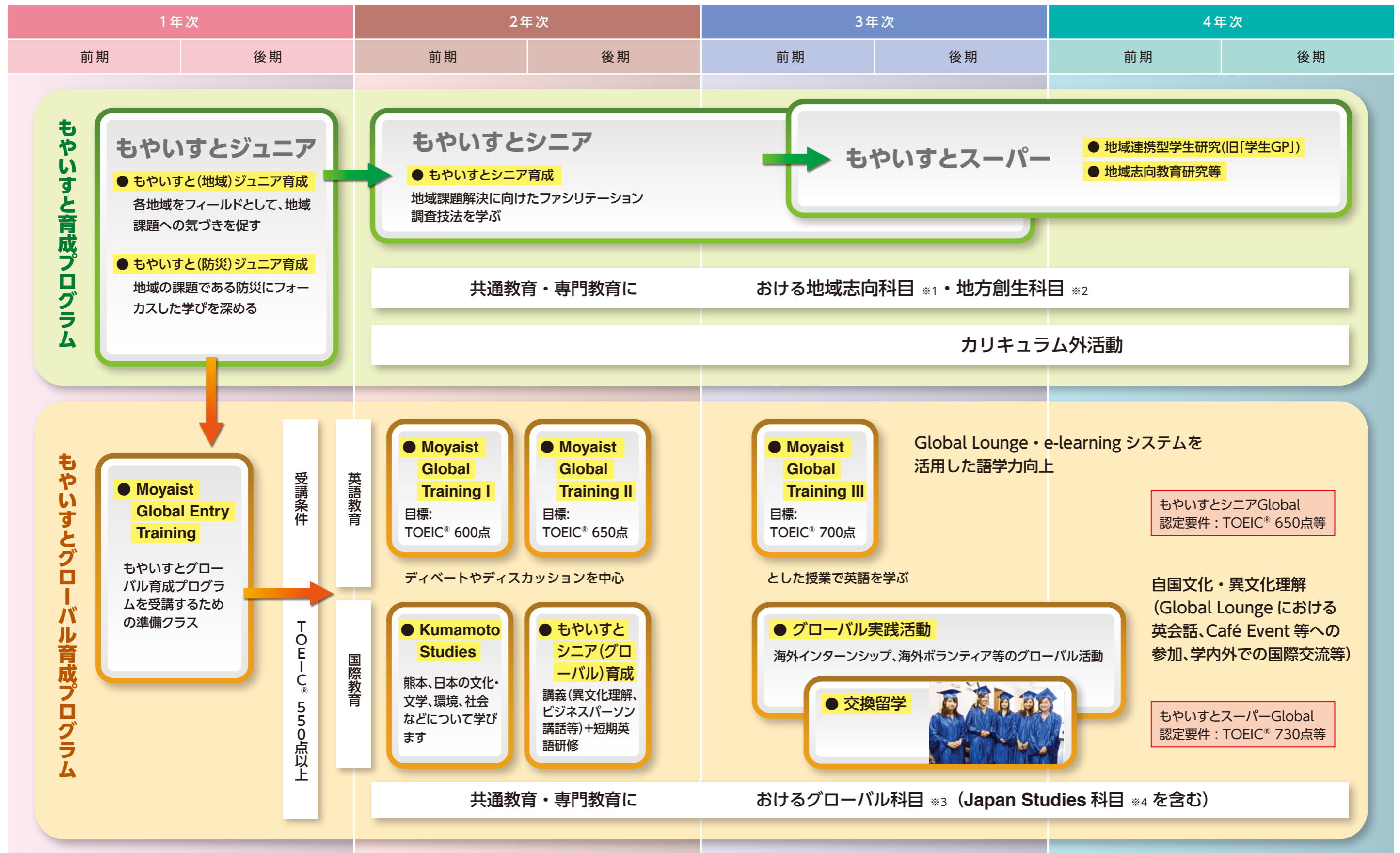
● 地域に生き、世界に伸びる



「もやいすと育成システム」イメージ

■「もやいすと」とは

本学では、「地域に生き、世界に伸びる」をスローガンに掲げ、地域に根ざしながら世界を見据える人材の育成に努めています。その人材養成の目的を表す概念として、「もやいすと」という用語を用いています。この「もやいすと」の「もやい(舫い)」とは、もともと船を相互に繋ぐことを意味し、人と自然と地域社会とを再構築する「もやい直し」という言葉に由来しています。



※1 地域志向科目…熊本に関する内容(文化、自然、社会等)を含む科目、地域課題を内容として含む科目のいずれか一つ、もしくは複数に該当する科目
 ※2 地方創生科目…地域課題の解決に必要となる知識の獲得、スキルの育成に資する科目

※3 グローバル科目…外国語能力の向上や国際理解・異文化理解を深める科目
 ※4 Japan Studies科目…日本や熊本の文化、文学、環境、社会等に関する内容を英語で学ぶ科目

地域に生きる

もやいすと育成プログラム

“地域づくりのキーパーソン”を育成する教育プログラム

このプログラムでは、熊本の自然や文化、社会に対する理解に立ち、専門の枠を超えて自ら課題を認識・発見し、地域の人々と協働して課題の解決に取り組む人材（もやいすと）の育成を目指します。

ジュニア、シニア、スーパーの3段階で実施しております。1年生から卒業まで「地域づくりのキーパーソン」としての素養を段階的に養成していくプログラムです。

県内各所へのフィールドワークや災害に備えるためのワークショップなどを通じて地域への理解や防災に対する意識を高め、グループワークを通じて合意形成能力やファシリテーターとしてのスキルを向上していきます。

もやいすと育成での学びや地域活動を積極的に行う学生には「もやいすとスーパー」として評価し認定する独自の評価制度を設け、卒業後も地域課題解決に向けて実践的能力を発揮する人材を育成しています。

もやいすとジュニア育成

1年生全員が受講する必修科目です。「地域」か「防災」、どちらかを選択します。「地域」・「防災」ともに、フィールドワークやワークショップを終えた後はグループワークを行い、学部を交えたチームのメンバーと共に課題を見つけ、その解決策をまとめて成果発表を行います。

地域

地域への気付きを促す導入科目です。熊本県内の対象地域へのフィールドワークや地域課題発見と、解決へ向けたワークショップを行います。

防災

地域課題である「防災」にフォーカスした導入科目です。被災時に役立つ実践的なワークショップを行いながら防災意識を高め、災害が起きた時にどう対応をすべきか、また被災した地域をどのように復興していくかを学びます。



グループワークの様子 (2021年度撮影)



阿蘇の輪地切り活動 (2019年度撮影)



救命装置AEDの講習 (2019年度撮影)

もやいすとシニア育成

「もやいすとジュニア育成」を受講した2年生を対象にした選択科目です。

地域リーダーに要求される基礎的なスキル、「リーダーシップと合意形成能力」を養成します。また、熊本県内各所へのフィールドワークを通して、聞き取り調査スキルや分析力などの調査技法のスキルを養い、ジュニアに対するファシリテーターとしての授業サポートを通じて「地域課題解決に向けたファシリテーションスキル」を養います。



芦北町 肥薩おれんじ鉄道佐敷駅見学と講話 (2021年度撮影)



フィールドワーク後の振り返り (2021年度撮影)



人吉市 青井阿蘇神社の施設見学と講話 (2021年度撮影)

もやいすと育成プログラムの詳細は大学ホームページをご参照ください。



もやいすとスーパーの声

2021年度 もやいすとスーパー認定



環境共生学部 環境共生学科
環境資源学専攻 4年
島山 玲来 さん

私は、熊本地震を経験したことや、減災リテラシーという講義を受けたことをきっかけに、防災・減災について興味を持ち、防災士の資格を取得しました。地域内の防災訓練に参加したときには、住民の方々と意見を出し合い、課題点を多く見つけることができました。また、もやいすとジュニアも授業で学んだことも地域での活動に大いに役立っており、自分も楽しみながら地域に貢献することに繋がったと考えています。

2021年度 もやいすとスーパー認定



環境共生学部 環境共生学科
環境資源学専攻 4年
本田 光 さん

もやいすとスーパーを申請したきっかけは、高校生のときに大学のパンフレットでもやいすとスーパーというものを知り、興味を持ったからです。もやいすとを通して、人や地域と関わることの大切さを学ぶことができました。またSA（Student Assistant：授業支援等を担う学生）を経験させてもらい、チームで話し合うことの難しさ、楽しさを実感しました。卒業後も地域と関わっていくことを常に意識しながら、地元熊本で働きたいと考えています。

新熊本学

「熊本」を学ぶ、「地域」に学ぶ

熊本で学ぶことの意義、それはここ熊本でしか学べないことを学ぶこと。本学では、このような「熊本」にこだわった授業を全学共通科目の中で展開しています。それが、「新熊本学」。「熊本」という地域に、様々な角度からアプローチしていきます。



「新熊本学」の講義風景 有限会社阿部牧場 代表取締役 阿部寛樹氏

- 〈開講科目〉
 「新熊本学:ことば、表現、歴史」
 「新熊本学:熊本の生活と環境」
 「新熊本学:地域のビジネスリーダーに学ぶ」
 「新熊本学:地域社会と協働」

協力講座

社会の第一線で活躍する人から学ぶ

「協力講座」とは、大学と協定を締結した企業の第一線で活躍する人たちから学べるオンリーワンの授業です。各授業のテーマについて学ぶだけでなく、社会で求められている知識や技能とは何か、また、大学で学ぶ理論、知識が実際の社会の中でどのように役立てられるかなどを、企業の持つ実践的知識をもとに「理論」と「実践」を学びます。

〈協定企業と開講科目〉

- 熊本日日新聞社……………「マスメディア論」
- 九州電力熊本支社……………「エネルギーと社会」
- NTT西日本熊本支店……………「情報と社会」



「情報と社会」NTT西日本熊本支店でのフィールドワーク



「エネルギーと社会」の講義

フィールドワーク

現場に学び、実践力を得る

より具体的で深い問題意識や学修意欲を高めるため、現場での学修体験を重視しています。それがフィールドワークです。本学では、このフィールドワークの手法をカリキュラムの中に積極的に取り入れています。

- 例：文学部
 「徳富蘆花所縁の地探訪」
 環境共生学部
 「干潟の環境と生物群集」
 総合管理学部
 「湯布院温泉に観光促進を学ぶ」



「維和島農泊観光コンテンツ開発」の中の空き家活用

地域連携型学生研究制度(旧「学生GP」)

学生研究を企業や社会と連動させたプログラム

地域連携型学生研究制度とは、地域企業・地域社会から研究テーマを募集し、それを学生が地域連携型学生研究として取り組むものです。

学生は、地域が抱える問題に卒業研究などとして取り組むことで、社会人としての演習の場になり、実社会における知識活用のあり方、コミュニケーション力、問題分析・解決力などを会得していきます。

※2022年度より名称が「学生GP(地域連携型卒業研究)」から「地域連携型学生研究」に変わりました。



公開審査会

2022年度地域連携型学生研究制度一覧

	連携先企業・団体	研究テーマ	学部	担当教員
1	熊本市役所	コンパクトシティとまちづくり	環境共生学部	鄭一止
2	一般社団法人玉名観光協会	玉名市観光業活性化に向けた地域特性の調査と分析そして活性化策の具体化	総合管理学部	津曲 隆
3	玉名市役所	玉名市マスコット「タマにゃん」及び玉名市観光PR動画を活用した効果的な情報発信	総合管理学部	津曲 隆
4	大津町	ふるさと納税制度を活用した観光地域づくりの方向性について	総合管理学部	井田 貴志
5	熊本市役所	市営住宅のニーズ調査や評価について	環境共生学部	佐藤 哲
6	一般財団法人熊本市国際交流振興事業団	熊本市に於ける国際化・多文化共生社会推進に向けての新規事業調査及び構築	総合管理学部	宮園 博光
7	株式会社ジェイコム九州熊本局	2050年度ゼロカーボンに向けた県民運動(家庭で実践できる取組み)の啓発広報	総合管理学部	宮園 博光
8	宇土市役所	SNSを使った広報の効果的実践について	総合管理学部	高濱 信介
9	熊本市役所	自動車通勤から自転車通勤への転換に関する研究	総合管理学部	高濱 信介
10	天草市役所	若者へ効果的に企業情報を提供する仕組みに関する一考察 ーデザイン思考の観点からのアプローチー	総合管理学部	井寺 美穂
11	宇土市役所	マイクロツーリズムとしての「宇土の小さな旅～uto small trip～」の開発	環境共生学部	柴田 祐
12	熊本市役所	熊本市南区における新たなまちづくりの担い手の発掘及び育成手法の検討	環境共生学部	柴田 祐



連携先とのweb会議



現地調査



中学生とのワークショップ

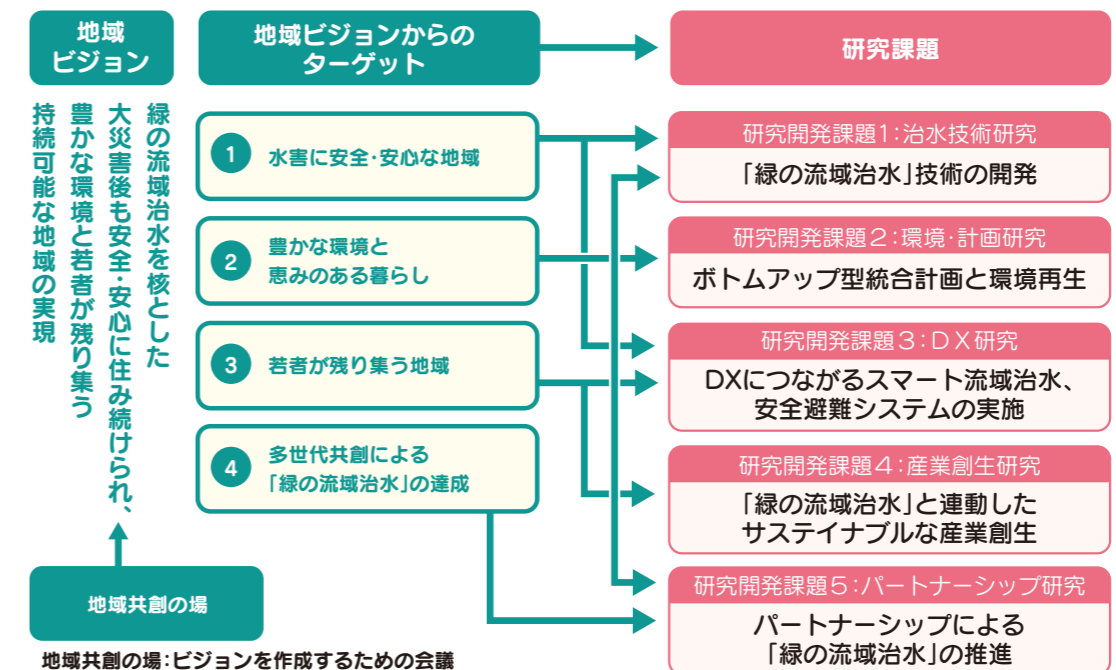
緑の流域治水

JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)から、令和3年度共創の場形成支援プログラム・地域共創分野の公募があり、多数の応募の中、本学を代表機関とする「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点が本格型の10年間のプロジェクトとして採択されました。

本学はこの拠点の代表機関として、SDGsやウィズ/ポストコロナ時代をふまえた未来の地域社会のあるべき姿を構想し、拠点の様々な研究や活動を通して、被災地の復興と球磨川流域の持続的発展に寄与することを目指しています。

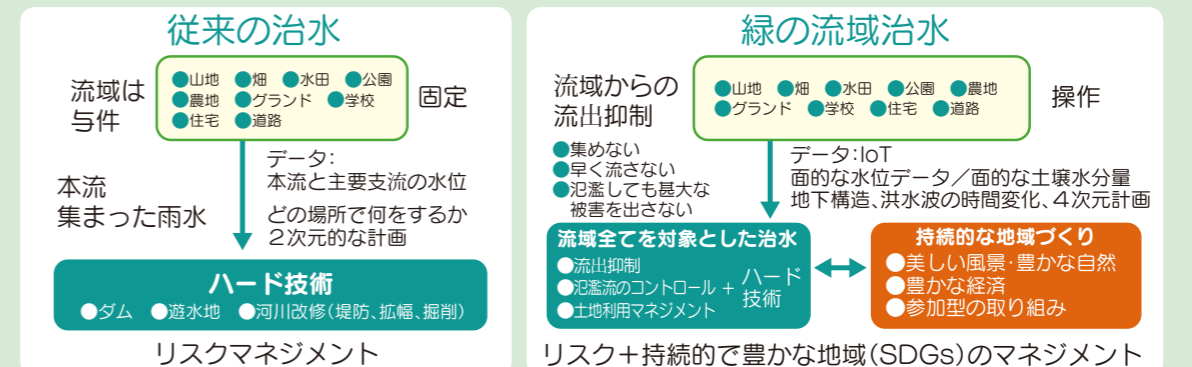
球磨川流域の持続的発展をめざし、地域ビジョンを達成するための研究開発課題

「水害への安全・安心」「豊かな環境と恵みのある暮らし」「若者が残り集う地域」「多世代による緑の流域治水の達成」の4つをターゲットとした5つの研究開発課題。10年後にめざす地域ビジョンを基に、未来の地域を見据えたバックキャスト方式で研究開発課題を設定したことが特徴的です。



「緑の流域治水」とは？

流域全体を対象に、流出抑制、氾濫流のコントロール、土地利用規制など、建造物などのハード面だけでなく、ソフト面での対策も充実させる新しい考え方の治水対策を「流域治水」といいます。すべての場所を対象とするため、地域との協働により実施することが求められます。「緑の流域治水」はこの対策に環境的な視点を組み込んだもので、持続的な地域づくりや環境保全にもつながる治水対策です。



世界に伸びる

国際教育(学部生対象)

もやいすとグローバル育成プログラム

地域課題に柔軟に適応し、グローバルな視点を持って活動できる学生を育成するためのプログラムです。1年次から4年次までの体系的な学びとグローバルな視点を持つため海外留学等を促進し、世界でも活躍できる学生を育成します。本プログラムの参加学生には、英語で熊本や日本について学ぶ「Kumamoto Studies」、海外インターンシップやボランティア等を行う「グローバル実践活動」等のユニークな専用科目が用意されており、これらの科目を履修することで、自国文化・異文化に対する理解を深め、英語運用能力の向上を目指すことができます。



Intensive English

英語運用能力を高めることを目的に、英語漬け環境で短期集中的に英語を学びます。期間中は英語のみを使用するルールのもと、学内学修と留学生を加えて行う合宿形式の学修とを組み合わせで行っています。講義やディスカッションだけでなく、留学生と一緒にゲームやパフォーマンスなど、異文化理解を深めながら、楽しみながら学べる内容になっています。



国際教育(大学院生対象)

高度グローバル人材育成(大学院教育)

令和元年度(2019年度)において、JICAと熊本県が締結した「熊本県と独立行政法人国際協力機構との連携協定」に県の発展に貢献する人材の育成が盛り込まれたことなどを踏まえ、本学ではグローバル人材育成を積極的に推進し、学部教育だけでなく、大学院教育においても、海外体験(国際協力・貢献活動)と大学院の専門教育を実施し、熊本のグローバル化に貢献できる人材の育成に取り組むこととしています。

具体的には、2019年度に概ね2年間の国際協力・貢献活動を終えた方を受け入れるための社会人特別選抜(国際協力枠)を、また、2020年度には大学院在学中に国際協力・貢献活動を体験する大学院教育を制度化しました。現在、3名の大学院生が在籍し、専門分野の研究に取り組んでいます。

大学院修了後は、熊本県内の企業、行政機関等に就職し、熊本のグローバル化をリードする人材として活躍してほしいと考えています。



1996年生活科学部(現環境共生学部)卒業

赤星 亜朱香さん

2013年7月～2015年10月 青年海外協力隊 東ティモール派遣 職種:栄養士
2016年7月～2018年7月 シニア海外ボランティア ミクロネシア連邦派遣 職種:栄養士

2018年10月～ JICA 熊本県国際協力推進員
2021年1月～ JICA 企画調査員(ボランティア事業) ザンビア共和国派遣

熊本県立大学を卒業後、京都府立大学大学院に進学しました。修士課程修了後、母校で栄養士・管理栄養士の養成に従事していく中で、自分の将来について考えた時に「私にも栄養士としての経験が欲しい」と思い、開発途上国で活動する青年海外協力隊に栄養士として参加することを決めました。

日本とは異なる文化や習慣の中での活動は、一筋縄ではいかないものばかりでしたが、改めて日本や家族について考える機会にもなりました。途上国の人たちから学ぶことも多く、「幸せ」や「生きること」に対する考え方や価値観は大きく変わりました。また、先進国を目指す発展ではなく、各々の国に合った開発や発展、未来づくりがあるのではないかと考えるようになり、国際協力の奥深さや面白さに興味を持つようになりました。

今後は、自分の専門や経験を生かしながら、様々な国の国づくりに貢献していきたいと考えています。

国際交流

短期語学研修団の受入れ

祥明大、モンタナ州立大学ピリングス校、ブラウイジャヤ大学から語学学習と文化体験を目的とした研修団を受け入れています。これまでに多くの学生がホストファミリーとして協定校からの学生を受け入れ、家庭の中での国際交流を実践しています。



祥明大からの研修団



モンタナ州立大学からの研修団



インドネシア・ブラウイジャヤ大学の学生とのオンライン交流

学部生・大学院生等の受入れ

これまで、米国・韓国・中国・インドネシア・台湾・ベトナム・タイ・タンザニア・ブラジル・モンゴル・ガーナ・ミャンマー・スーダンからの留学生を学部生、大学院生、研究生、特別聴講生(交換留学生)として受け入れてきました。

	学部	大学院	研究生	特別聴講生	計
留学生数	2	14	0	4	20

(2022年5月1日現在)

学術交流協定校・機関

海洋大(韓国)、ワライラック大(タイ)、広西大(中国)、国立台北科技大(台湾)、開南大(台湾)、ソウル市立大(韓国)、カセサート大(タイ)、モンタナ州立大ボーズマン校(米国)、ブラウイジャヤ大(インドネシア)、中原大(台湾)、チャタム大(米国)、海南省疾病予防管理センター(中国)、モンタナ大(米国)

海外留学・研修

学生交流協定締結校

1997.9 韓国・祥明大校 (1989.10に姉妹提携)
1998.5 米国・モンタナ州立大学ビリングス校

祥明大校には10か月間、モンタナ州立大学ビリングス校には9か月間、単位互換及び授業料相互不徴収の留学制度で交換留学生を派遣しています。



韓国・祥明大校



米国・モンタナ州立大学ビリングス校



モンタナ州立大学ビリングス校への交換留学生

文学部英語英米文学科4年

吉永 有紗さん
(熊本国府高等学校出身)

私は米国のモンタナ州立大学ビリングス校へ交換留学生として在籍しており、毎日が発見の連続で充実した日々を過ごしています。学業に関してはスタッフの皆さんから手厚い支援を受けながら整った環境で勉学に励んでいる最中です。休日にはモンタナの広大な自然を楽しんだり、International studentsと異文化交流をしたりしています。この留学で語学力はもちろん人間力をも成長させてくれました。素晴らしい機会を与えてくださった皆さんへ感謝を忘れず挑戦し続けていきます。



祥明大校への交換留学生

文学部英語英米文学科4年

西村 日華里さん
(熊本県立八代高等学校出身)

韓国の祥明大校へ交換留学生として派遣していただき、刺激溢れる毎日を過ごしています。オンラインと対面を織り交ぜた授業形態でしたが、生の韓国語に触れる機会を多く得ることができ、語学力が格段に上がりました。授業外では、教授・スタッフの方が生活面を常に気にかけて下さるため、安心して生活を送ることができました。現地で友人もでき、一緒に出掛けて交流したりなど日々充実しています。また、留学中は熊本県立大学から奨学金等のサポートもあるため、しっかりと勉学に励むことができます。韓国での生活は慣れないことも多々ありましたが、多様な価値観に触れ視野を広げることができたと感じています。

短期語学研修

モンタナ州立大学ビリングス校には4週間の語学学習と文化体験を目的とした研修団を派遣しています。



モンタナ州立大学での短期英語研修

留学支援

- オフィスアワー (P66) を利用して、留学経験のある教員に留学等の相談をすることができます。
- 協定校への留学を希望する学生に対し、留学制度や奨学金の説明会を実施しています。留学経験のある学生に話を聞くこともできます。
- 留学を希望している学生に対し、海外の大学での授業や生活についてのアドバイス等を行う「留学対策講座」を開講しています。
- 学生交流に関する協定に基づき、派遣される交換留学生については「短期派遣留学生支援奨学金」を、文学部英語英米文学科の一定期間以上の留学・研修を行う学生に「小辻梅子奨学金」を支給しています (P77)。
- 海外への留学・研修を行う学生 (後援会会員のみ) に、期間に応じた助成金を支給しています。



留学相談会

国際教育交流センター

国際教育交流センター概要

国際教育交流センターは、国際教育、国際交流及び語学教育支援等に関する業務をワンストップで実施する組織として、グローバル人材の育成に取り組みます。

主な所管業務

- 国際教育の企画・調整
 - ・学 部 もやいすとグローバル育成プログラム等の実施支援
 - ・大学院 高度グローバル人材育成のための国際協力・貢献活動を終えた者の受入れ支援及び国際教育・貢献活動を組み込んだ大学院教育の実施支援
- 国際交流の推進
 - ・海外協定校との交流
 - ・学生の留学及び受入れ留学生の支援 等
- 語学教育の支援
 - ・Global Loungeの運営
 - ・TOEIC® IP (団体試験) の実施 等

Global Lounge

Global Loungeでは、楽しみながら英語を学ぶことができます。国際教育交流コーディネーターが常駐しており、英会話やディスカッションを行ったり、英語のチュータリングを受けたりすることができます。また、語学学習に役立つ様々な教材 (iPad、DVD、書籍、雑誌、ボードゲーム等) の利用もできます。

● Café Events

Global Loungeでは国際教育交流コーディネーターがアレンジするGlobal Lounge Café Eventを年間通して行っています。留学生による出身国の紹介、留学生へ日本についての紹介、世界で活躍する著名人の講演など、国際的なビジョンが広がるようなイベントを開いています。留学生と交流する機会もあり、多くの学生が参加しています。

● 英語のチュータリング

国際教育交流コーディネーターとマンツーマンで1セッション30分の英語のチュータリングを予約制で実施しています。チュータリングの内容は、英会話の練習を始め、論文や学会発表の原稿、英文履歴書など留学や就職活動に必要なもの、日記やメール等の英作文のアドバイス、英語によるプレゼンテーションの練習、語学学習アドバイス等です。対面またはオンラインで受講できます。



国際教育交流コーディネーター
Viorel Ristea

There is something special in all of us, regardless of age, gender or nationality, but somehow most of us are not aware of, or are having a hard time identifying our strongest points. The sooner we are aware of our strengths, the greater the chances of achieving success. It is my goal to help you find the best in you and to support you in building your own path to success.

英語のe-learningシステム

本学では、学生のみさんの英語能力の向上を図るため、英語学習ができるe-learningシステム (NetAcademy NEXT・EnglishCentral) を導入しています。英語のリスニング力強化や語彙力強化に役立てることができます。

TOEIC®IP (団体特別試験制度) の実施

TOEIC® (Test of English for International Communication) は、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する試験で、日本では、企業における採用や昇進・昇格などに利用されており、就職活動時の自己PRの材料とすることができます。

TOEIC®には各団体が日程や場所を自由に設定して試験を行うことができる団体特別試験制度 (TOEIC® IP) があり、本学では後援会との共催で年2回実施しています。



共通教育センター

Center for General Education

文学部

Faculty of Letters

- 日本語日本文学科 Department of Japanese Language & Literature
- 英語英米文学科 Department of English Language & Literature

環境共生学部

Faculty of Environmental & Symbiotic Sciences

- 環境共生学科環境資源学専攻 Division of Environmental Resources, Department of Environmental & Symbiotic Sciences
- 環境共生学科居住環境学専攻 Division of Human Habitat, Department of Environmental & Symbiotic Sciences
- 環境共生学科食健康環境学専攻 Division of Food & Health Environmental Sciences, Department of Environmental & Symbiotic Sciences

総合管理学部

Faculty of Administrative Studies

- 総合管理学科 Department of Administrative Studies



共通教育センター

「人文科学、自然科学、社会科学の集約型大学」である熊本県立大学の特色を生かした共通教育で、「地域に生き、世界に伸びる」人材の育成をめざします。



共通教育は、基盤科目と教養科目の2つのカテゴリーから成っています。基盤科目としては「外国語(英、独、仏、中、韓)」、「情報処理とデータサイエンス」、「キャリアデザイン」、「健康スポーツ科学」、「地域理解とリーダーシップ」の分野を用意し、大学そして社会で行動していくための基礎能力の育成を行います。現代社会は複雑・多様化しています。教養科目では「人文科学」、「自然科学」、「社会科学」が集約された本学の特長を生かし、それぞれの学問分野から多くの授業を開講しています。これらを共通教育を通して市民性の涵養を図るとともに、現代社会をとらえる見方や考え方の育成をめざします。

細分化が進む現代社会だからこそ、豊かな人間性と物事を的確に判断する能力が求められています。本学では複雑化した現代社会を見る豊富な科目で「地域に生き、世界に伸びる」人材を育成します。

共通科目群

基盤科目

外国語

本学の外国語教育では、国際共通語としての英語の実践的側面に力を入れ、国際共通語としての英語の運用能力の向上を目標としています。また、初修外国語として「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」の科目を開講し、聴き、話し、読み、書く総合力を養成し、外国の書籍を読み、それらの持つ豊かな内容の理解を目指します。



- 科目：英語／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語

キャリアデザイン

大学で何をいかに学ぶか、その姿勢や方法を学ぶとともに、自己のキャリアを継続的にデザインし続けていく能力を育成します。

- 科目：プレゼミナル／キャリア形成論／インターンシップ

健康スポーツ科学

運動・スポーツ活動の健康に対する有用性について理解を深め、将来にわたって心身ともに健康な生活の設計と実践ができる能力を育成します。



- 科目：健康の科学／生涯スポーツ実習

情報処理とデータサイエンス

近年の情報ネットワークシステムの基本構成や使用法、その使用にあたっての情報モラルやセキュリティについて学び、情報機器の基本的な操作を学習します。また、様々な場面でデータに基づく意思決定ができる基礎的な能力を養うこと、すなわちデータ思考の基礎を涵養することを目指します。



- 科目：情報処理入門／データサイエンス入門／データサイエンス演習

地域理解とリーダーシップ

地域の抱える課題に関心を持ち、地域の人々と協働して課題解決の方策を考える、地域づくりのキーパーソンを育成します。「もやいすと」育成システムもこの分野で展開します。また、授業によっては、地元企業の経営者や熊本県庁職員等多くの外部講師を招へいし、地域社会の今を紹介します。

- 科目：もやいすとジュニア・シニア育成／新熊本学：ことば、表現、歴史／新熊本学：地域のビジネスリーダーに学ぶ など

共通科目群

教養科目

人間と文化

人間の感情や判断は、その人が育った時代や地域の文化の影響を強く受けています。思想、宗教、歴史、芸術、文学、言語などを学びつつ、人間の思考がいかに形成され、表現されてきたのかを考察し、その考察を通して人間の本質への洞察力を高めることを目指します。



●科目：科学の思想／現代世界と歴史／人間と芸術／心理学入門 など

自然と環境

現代の基礎科学に関する知識を修得し、それが先端技術として生活にどのように利用され、今後どのように活用されていくのかを考えます。また、現代社会が抱える環境問題について、多角的に考察します。



●科目：環境と生物圏／エネルギーと社会／環境と生きる／住まいと地域環境／食と健康 など

社会と世界

法律、政治、経済、情報等様々な要因から規定されている社会が我々の生活にどのように関わっているのかを学び、社会が抱えている課題とその解決策を考察します。また、グローバル化が進展する現代世界における経済問題・国際関係についての理解を通し、我が国の国際的位置付けや役割等について考察し、国際人としての見識を養います。



●科目：生活と憲法／現代社会と企業／情報と社会／マスメディア論／世界の経済／国際協力論 など

キャリアデザイン科目

キャリア形成論／プレゼминаール

大学で学ぶことの楽しさと厳しさに触れる

大学生活がさまざまな分野で活躍する社会人としての自己実現のための一過程であることを認識し、主体的に自らのキャリアを構築していくための方法を学ぶことを目的に、1年次の必修科目として「キャリア形成論」と「プレゼминаール」を開講しています。「キャリア形成論」では、教員はもちろんのこと、卒業生・上級生や外部講師など、多様な方からキャリアについての話を聞くなど、自分のキャリアについて考える機会を多く設けます。その中で将来の自分を見据え、今後身につけるべき能力や知識を認識し、その修得に主体的に取り組む動機付けを行います。そして、大学で学ぶための実践的な方法を「プレゼминаール」で学びます。図書館の利用方法、資料や文献の集め方、レポートやレジュームの書き方、プレゼンテーションの方法など、体験しながら身につけることができます。これらで培った能力・技術は大学生活だけでなく社会に出てからも役立つものです。



古文書の取り扱い方を学ぶ学生



「キャリア形成論」での講話

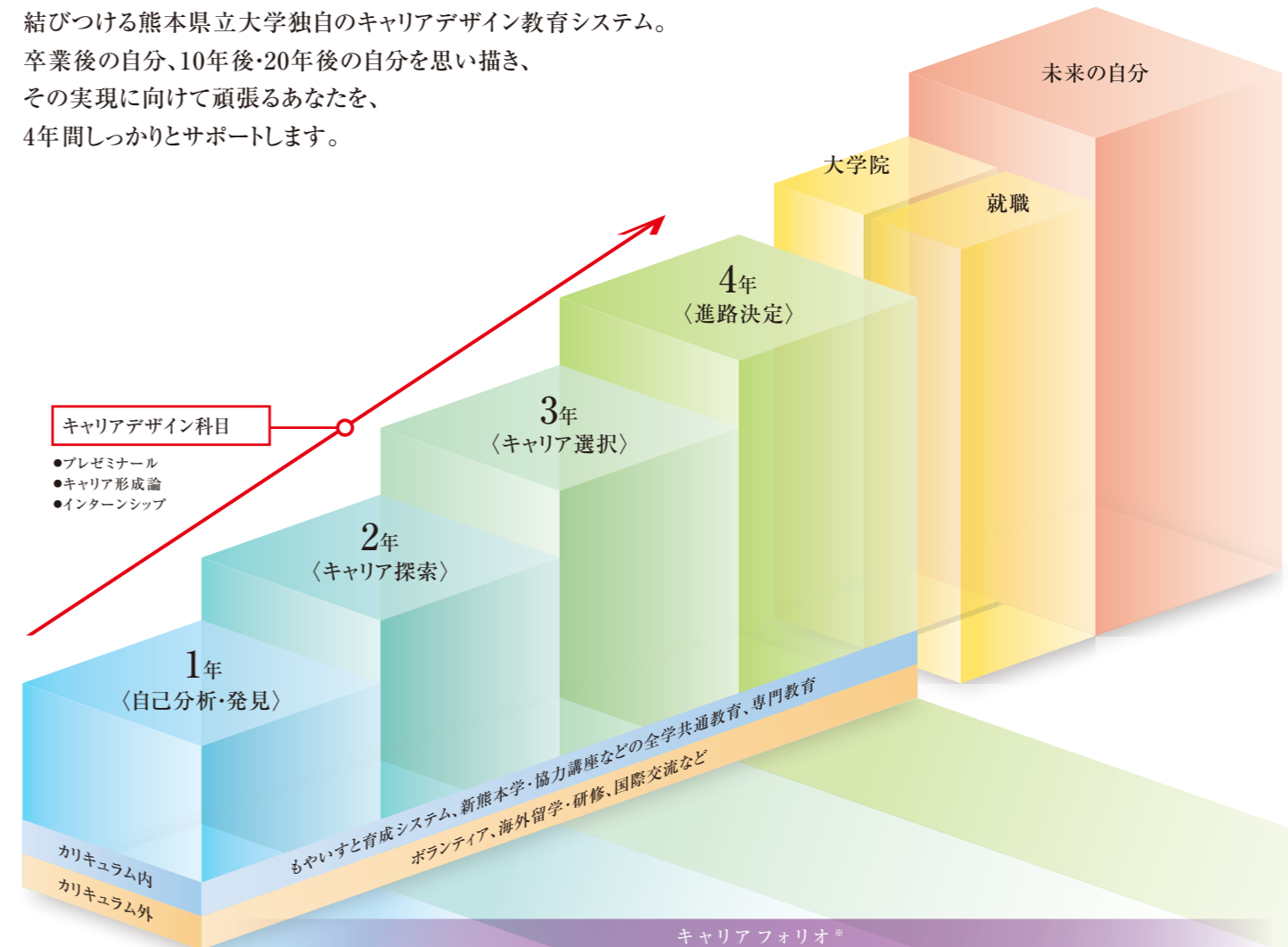
インターンシップ

企業・自治体等の現場で実際の仕事を体験する

キャリアデザイン科目の一つとして、通常の講義では得られない実践的な教育プログラム「インターンシップ（全学共通）」を用意しています。インターンシップは在学中に自分の専攻分野、将来のキャリアに関連した就業体験をおこなえる制度です。

キャリアデザイン教育システム

充実した共通教育・専門教育のカリキュラムと様々な就職支援・資格試験対策などのプログラムを中心としたキャリアサポートとを、キャリアフォリオ[®]を活用して有機的に結びつける熊本県立大学独自のキャリアデザイン教育システム。卒業後の自分、10年後・20年後の自分を思い描き、その実現に向けて頑張るあなたを、4年間しっかりとサポートします。



キャリアサポート	就職支援	1年 インターンシップ説明会	2年 インターンシップ公務員ガイダンス	3年 インターンシップ就職セミナー 企業・公務員説明会	4年 個別企業説明会 就職セミナー
	資格等試験対策	公務員試験対策講座、ITパスポート試験対策講座、秘書技能検定講座、宅地建物取引主任者講座、簿記検定講座、			TOEIC [®] 、TOEFL [®] 、行政書士講座、二級建築士受験対策講座…etc.
	取得資格	教職課程 中学校教諭免許、高等学校教諭免許、栄養教諭免許 免許資格 栄養士	受験資格 一級建築士、二級建築士、管理栄養士	任用資格 食品衛生監視員及び食品衛生管理者 受験対応 環境計量士	詳しくは、各学科・専攻のページをご覧ください。
	支援機関	キャリアセンター	図書館	デジタルイノベーション推進センター	国際教育交流センター

※熊本県立大学では、学修履歴の記録を「キャリアフォリオ」と呼んでいます。

文学部

Faculty of Letters

「人間」の生き方と文化について深く考える

文学部は、言語、文学、歴史、思想等にわたる人文的教養の基礎に立ち、日本語、日本文学、日本語教育、あるいは英語、英米文学、英語教育を専門的に教育・研究します。

[アドミッション・ポリシー] ~文学部はこのような人を求めています~

わたしたち人間が作り上げてきた様々な文化を探究し、これから作り上げるべき文化のあり方を考えていく、それが文学部の使命です。古今東西の様々な文献を読むことで、それぞれの時代の人々の考え方を理解し、ことばによるコミュニケーションを通して人や社会との着実な関係を作り上げることに取り組んでいきます。

日本語とはどのような言語なのだろうか、日本語を歴史的にあるいは客観的に学ぶとはどういうことなのだろうか、英語を正しく理解し表現する力を身に付けるにはどうすればよいのだろうか、日本の文学や英語圏の文学を深く理解したい、そして、より広い世界の文学、言語、歴史、思想を学んでみたい、このような問題意識や希望を持つ人に文学部は応えていきます。ことばと人間に関心を持ち、意欲をもって探究のできる人、そんな人を文学部は求めています。



日本語日本文学科

- ① ことばや文学作品が持っている、人間を動かす力のみならずを探究しようとする人(「現代文」「古典」を履修していることが望ましい)
- ② 日本語や日本文学が、時代とともにどのように移りかわってきたかを学ぼうとする人(「日本史」を履修していることが望ましい。また、日本文学史について一定の知識を持っていることが望ましい)
- ③ 日本語や日本文学についての知識や技術を、社会・地域の中で積極的に活かしていこうと志す人(現代社会の動向・要請について常に関心を持って欲しい)
- ④ 特に、中学校・高等学校の国語教員、もしくは外国人に日本語を教える日本語教師を目指す人

英語英米文学科

- ① 世界に広く目を向け、国際的に交流し活動していきたい人
- ② 言語、文学、文化に関心を持ち、英語学・英米文学・英語圏文化について理解を深め、研究したいと考えている人
- ③ 英語教員を志望する人

大学院(文学研究科)については→P56

●2023年度入学定員及び募集人員(単位:人)

文学部	入学定員	募集人員									
		一般選抜		自己推薦型	特別選抜					留学生・帰国子女 社会人	
		前期	後期		学校推薦型選抜		公募		全学で 2名以内		
日本語日本文学科	45	30	10	—	5	—	—	—	—	—	若干名
英語英米文学科	45	28	10	—	7	—	—	—	—	—	若干名

文学部 4年間の学び

4年間を通じて、文学・言語を中心とした人文学の基礎的知識を身につけ、併せて全学共通科目及び学部共通科目により総合的な素養を身につけることで、幅広い知見と判断力を養い、広く多角的に物事をとらえ思考できるよう、両学科ともカリキュラムを編成しています。

文学部の「専門科目群」は、「人文基礎」、「主要科目」、「学部共通科目」、「演習」、「特殊研究」、「卒業論文」から構成されます。1・2年次では、両学科の学生が「人文基礎」や「学部共通科目」群の科目で、「主要分野」や「人文学」を支える基盤的知識を身につけます。同時に、1年次から4年次にかけて、順次「主要科目」、「学部共通科目」、「演習」、「特殊研究」というように、知識、方法論、読解技能、並びに発表技術を積み上げ、学士課程の最終成果である「卒業論文」を執筆します。

区分	1年	2年	3年	4年
共通科目群	基盤科目 外国語 / 健康スポーツ科学 / 情報処理とデータサイエンス / キャリアデザイン / 地域理解とリーダーシップ		教養科目 人間と文化 / 自然と環境 / 社会と世界	※詳細はP21
専門科目群 日本語日本文学科 …P26 英語英米文学科 …P30	人文基礎 歴史基礎論 / 言語基礎論 文学研究への招待 / 知識と方法			
	主要科目 [日本語日本文学科] 日本語学 / 日本文学 / 日本語教育 / 関連分野 [英語英米文学科] 現代英語運用 / 英語学 / 英米文学 / 英語教育 / 留学			
			学部共通科目 地域文化研究 / 人文学(歴史学 / 心理学 / 中国文化論 / 異文化コミュニケーション / 比較文学)等	
	演習			
				特殊研究
				卒業論文

※演習は日本語日本文学科では2年次から、英語英米文学科では3年次から開講 ※特殊研究は日本語日本文学科では3年次から、英語英米文学科では4年次から開講

[学部長からのメッセージ]

言語や文学には人間の心や身体性、文化、歴史が反映されています。文学部は言語と文学を通して人間の思考方法とそれを表現する方法を学ぶ学部です。その先にあるのは人間、あるいは人間と社会のあり方の本質を探究することです。

人間は捉えている同一の対象が違う見え方をしているにも関わらず同じように見ているような錯覚を持ちます。同じものを見ていても見ている人の背景(思想、文化、歴史、経験、立場など)が異なれば必ず見え方は変わってきますが、なかなかそれに気付かないものです。

現代社会の様々な変化にまどわされることなく、特定の基準に捕らわれず多様な視点から本質を見ることが忘れない姿勢が重要です。文学部では日本語や英語を通して言語や文学ひいては文化の研究をすることで様々な視点から物事を捉える力を養成します。

このような視点から学生の一人一人がそれぞれの魅力に応じて個性を發揮し、皆が大学の中で「生きる場」を見つけ、能力を伸ばし、社会に出てからも自分の居場所を自身で開拓していけるような力を身に付けてほしいと思います。これから我々人間が作り上げていく文化のあり方を決めていくのは若き学生諸君です。

文学部長
村尾 治彦



MESSAGE
from
the Dean

日本語日本文学科

Department of Japanese Language & Literature



[学科の特色]

日本語日本文学科は、基本的に日本文学・日本語学・日本語教育学の3つの領域で構成され、日本の文学作品やことばの研究を通して、文化の継承性を問い、深く人間を見つめていく力を養成する学科です。日本の古代から近代に至る文学作品、古代語から現代語までを対象に、歴史的・文化的背景をも視野に入れて、読解・分析の能力を育成するために、文学・語学とも各時代・分野をカバーできるスタッフを擁し、系統立ったカリキュラムを組んでいます。

本学科では、上記3領域の学修を基礎とした上で、卒業論文に向け、特に熊本・九州その他の地域文化を研究対象に選んだり、歴史・思想など隣接する領域と関連づけた研究や異文化との比較研究もできるようになっています。

少人数での演習や特殊研究によって学生個々の問題意識に合わせた指導が展開されることに加え、各地の方言や古典籍・近代文学資料の調査、国内外での日本語教育活動等、学外での実践的な取組が活発なことも特色の一つです。

■ 詳しくは学科ホームページをご覧ください。
<https://jll.pu-kumamoto.ac.jp/>

[日本語日本文学科 4年間の学び]

1年次	2年次	3年次	4年次
<p>将来のキャリア形成に関する意識を醸成し始め、各種の「概論」「基礎論」を通して、日本語学・日本文学研究のための基礎的な知識を身につけます。併せて各時代の「文学史」や「講読」により、文学・語学研究に用いる資料への関心を喚起します。また、歴史・言語・思想の面から、広く人文学にわたる基礎的な知識と思考法を身につけ、ことばと作品を扱うための基盤を養います。</p>	<p>各分野の知識を補いつつ、「演習」により、知識の応用と思考・判断、資料操作と発表の経験を積み重ねます。この経験を通して、文章を正確に読解しまとめる力と、自らの考えを精緻かつ効果的に伝える表現力を養います。これらの力の育成に特化した「アカデミックスキル」の受講も有効です。なお、研究力をバランスよく身につけるため、「演習」は語学・文学の両分野からそれぞれ1科目を必修としています。</p>	<p>各自の関心に合わせた卒業論文の執筆を見ずして、「特殊研究」の分野を選択します。人文学分野を含む「演習」による訓練も継続しながら、テーマに応じた問題の切り口を探し、分析と論述の実践を重ねていきます。併せて、関心を内的なものに留めず、外に向けて論理的に発信しようとする態度を身につけます。</p>	<p>1~3年次での学修成果の集大成として、卒業論文に取り組みます。また学生各自の必要に応じ、知識や思考、技能のための科目を補完的に履修することができます。卒業論文への取り組みを通し、日本語・日本文学に関する自発的な関心をもとに、それまで得た知識と分析力を駆使し、論理的に考えをまとめる力を育みます。併せて、社会生活に必要な思考力・判断力・表現力を体得します。</p>

[開講科目(専門科目)]

区分	1年	2年	3年	4年
人文基礎	歴史基礎論 / 言語基礎論 文学研究への招待 / 知識と方法			
日本語学	日本語学概論	日本文法 / 方言学基礎論 現代日本語の分析	日本語史 / 日本語学史	
主要科目	文献学基礎論 / 文学研究法基礎			
	古典文学史 / 近代文学史 / 古代文学講読 中世文学講読 / 近世文学講読 / 近代文学講読			
	地域文献講読			
	漢文学史			
日本語教育	日本語教授法			
関連分野	地域踏査演習	アカデミックスキル		
	書道(講義) / 書道(実技)	古典文化研究 / 言語文化研究 近代文化研究 / 近代地域文化研究 / 日本古典文化論		
学部共通科目	情報処理発展 / 日本文化論 / 西洋文化史 / 地域文化研究 / 文化人類学 / 歴史学講義 / 日本文化史講義 / 中国文化論 思想史講義 / 比較文学講義 / 中国文学史 / 日中比較文学 / 日本語教育教材研究 / 日本語教育評価法 心理学講義 / 英文法 / 英米文学通史講読 / 英語学概論 / 英米詩概論 / 英語史 / 異文化コミュニケーション論 / Junior Seminar			
演習	日本語学 / 日本文学 / 日本語教育 / 複合			
	人文学(歴史学、思想史、中国文化論 日本文化論、異文化コミュニケーション)			
特殊研究	日本語学 / 日本文学 / 日本語教育			
	人文学(歴史学、思想史 中国文化論、日本文化論、 異文化コミュニケーション)			
卒業論文	卒業論文			

取得資格 教職課程の履修により、中学校・高等学校教諭一種免許状(国語)を取得できます。



文学部日本語日本文学科3年 荒木 風音 さん (熊本県立人吉高等学校出身)

みなさん「日本語日本文学科」にどのようなイメージを持っていますか。日本語や日本文学を専門的に学べるのは周知の通りですが、それだけではなく人文学系の専門分野についても学ぶ事ができます。私自身日本と中国の比較を通して文化や歴史も学びたいと考えて本科に進学しましたし、実際に今は中国思想や歴史も絡めた内容の研究をしています。どの分野にも共通することですが、ことばには様々な性格があります。大きく言えば、そのことばの表す意味だけではなくその更に奥にあるものを探求することが本科の特徴であると思います。自分の興味ある内容を研究することで自分自身の新たな発見があり、そこからさらに世界が広がって行く事が何よりも楽しいと感じられるはず。本科では1年次に基礎を学び、2、3、4年次に行くにつれて専門性の高い演習などが増えてきます。先生との距離が近く少人数での授業が可能で、それぞれの専門分野の先生方に親身にサポートして頂けます。知識をより深く、探究心を持って勉学に励むことができます。自分の好きな分野を学ぶことはとても楽しいものです。かの孔子のことばにも、

「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。」

(子曰、知之者不如好之者、好之者不如樂之者。)

とあります。みなさんもここ日本語日本文学科で自分の興味を広げ楽しいと感じられる分野を探してみてください。共に学べる日を楽しみにしています。



複合演習



インドネシア プラウィジャヤ大学での日本語教育実習

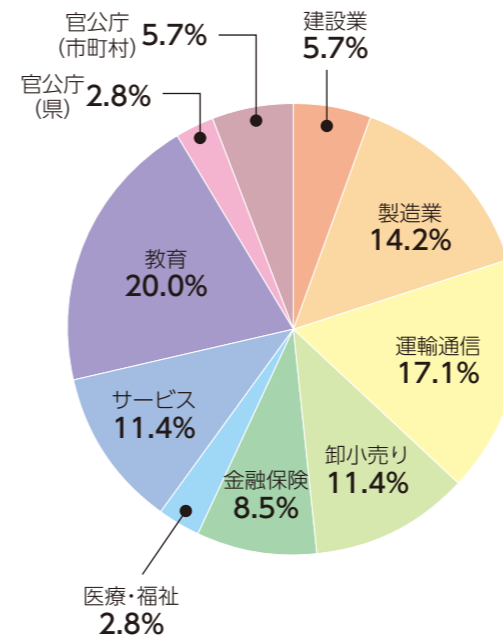


日本語学特殊研究

[卒業後の進路]

民間企業や事務系の公務員、国語科教員や日本語講師が考えられます。民間企業では学科で培った問題解決能力やコミュニケーション能力を生かし、教育や出版関係をはじめ幅広い職種での活躍が期待されます。もちろん大学院への進学も可能です。

業種別就職状況(2020年度)



主な進路一覧(2018~2020年度)

● 就職

アプライド、岩崎産業、エコー電子工業、F&B シモカワ、MX モバイリング、関西語学院、北九州農業協同組合、九州産業交通ホールディングス、九州柳河精機、共同エンジニアリング、グッド・クルー、熊本銀行、熊本県農業共済組合、熊本市医師会検査センター、熊本信用金庫、熊本第一信用金庫、熊本大学、熊本日日新聞社、KIS、KSK 九州、コスモス薬品、再春館製薬所、桜が丘病院、サニックス、JTB、SYSKEN、社会保険診療報酬支払基金、十八親和銀行、ジンス、スズキ自販熊本、セブンスシステム、宣伝会議、全日本空輸、ソフトウェアビジョン、タイヘイテクノス、タップカンパニー、DNS、トライアンプ熊本 BPO センター、トランスコスモス、nijito、西日本映像、日本生命保険、日本郵便、BLD WEDDINGS、広島銀行、富士古川 E&C、豊和銀行、マーキュリー、ミスターマックス・ホールディングス、宮崎銀行、村岡総本舗、明治安田生命、明和不動産、ヨネザワ、ヨネザワ、ワールドストアパートナーズ、渡辺資材産業、地方公務員、公立学校教員(臨採含む)

● 進学

熊本県立大学大学院(文学研究科日本語日本文学専攻)、國學院大學(神道学専攻科)、佛教大学大学院(文学研究科文学専攻)



[勤務先]

熊本銀行日赤通支店

2021年3月
文学部日本語日本文学科卒業

影山 日好梨 さん
(熊本学園大学付属高等学校出身)

本学科に進学を決めた理由は、多少他の人より国語という教科が得意だから、程度でした。特に目指すものもなかったため、出来るだけ親に負担をかけないようにと公立大学である本学に進学しました。

最初に受けた講義の中で「勉強と学問の違いは何だと思いますか?」という質問を受けました。私はこれが今でもとても印象に残っています。本学科は最初学問を探究する上で地盤となるところから学びます。その努力が実を結び始めるのは3、4年生、或いは更に遅いかもしれませんが、確実に世界の見え方を豊かにしてくれると思います。本当です。

私は4年間サークル活動とアルバイトに明け暮れていましたが、文字通り寝る間も惜しんで遊んでいました。友達と喧嘩したり、恋人ができたり、夜通し歌を歌ったり。学びの場でもありますが、一生涯の思い出を精一杯勝ち取ってほしいと思います。

現在は、銀行員として働いています。必要な知識を分かりやすくまとめ、自分の意見を添えて伝える、という大学での経験は、何にも代え難いスキルとして現在も活かしています。

学ぶだけでなく、遊ぶだけでなく、その両方を貪欲に取りにいかしてください。どっちも楽しいですよ!

英語英米文学科

Department of English Language & Literature



[学科の特色]

英語英米文学科は、英語を通して人間と世界を理解することを目標としています。英語によるコミュニケーション能力を高め、言語・文学・文化を深く理解し、国際的視野をもって活躍できる人材を養成しています。現代英語運用科目においては、2021年度からのカリキュラム改正により、CLIL: Content and Language Integrated Learning(内容言語統合型学習)を取り入れた「読む・書く・聞く・話す」の4技能の連携を図りながら批判的思考能力や問題発見解決能力を涵養する科目を導入しています。このディスカッションを中心とした少人数セミナー制の科目とレベル別、スキル別に分けた科目を1年次から4年次までバランスよく配当し、総合的な英語運用力の基盤が形成可能な形態となっています。また、学修到達の測定のため、TOEFL ITP®テストを入学時から4年次まで毎年1度受験することで英語力の伸長を測り、英語学習へのインセンティブを高めています。CLILによって身に付けた能力を基盤に、4技能を駆使して学問的専門領域の内容を学修し、英語での卒業論文執筆へと結実させます。

卒論履修分野として「英語学」「英文学」「米文学」「英語教育」「人文学」の5分野が開かれています。英語学では英語の構造や意味を論理的かつ体系的に分析したり、英語母語話者の認知の仕方に基づく表現の特徴を分析したりします。英文学・米文学においては、作家や作品、批評理論だけでなく、文化、歴史、社会思想についても考察します。英語教育では、英語を教えるための方法論や英語の効果的な学習法などを学ぶことができます。また併せて日本語教育(副専攻)を履修することもできます。

■ 詳しくは学科ホームページをご覧ください。
<http://puk-english.jp>

[英語英米文学科 4年間の学び]

1年次	2年次	3年次	4年次
2年次以降の英語学・英語教育・英米文学・英語圏やその他の言語文化について広く深い教養と専門的知識を身につけるための基盤となる「読む・書く・聞く・話す」の英語コミュニケーション能力の基礎を形成します。また、1,2年次にわたって、専門領域の基礎となる歴史、言語、思想、文学の基礎的知識・思考法を身につけ、主体的学修を促します。同時に、英米文学の講読授業や英文法の講義等により、英語の仕組みや英語圏の文学や文化、思想への関心を喚起します。	口頭による英語プレゼンテーション能力を強化しつつ、4技能のバランスの取れた英語コミュニケーション能力を伸長します。また、英語という言語や英語で書かれた文学作品を学術的に分析する知識と方法論を学び、異文化を深く理解すると同時に自国の文化を相対化できる能力を身につけます。また、全学共通科目、学部共通科目との連携の上に、コア領域を軸としつつも様々な言語、文化に広く展開し、多角的に関心を広げ、知識を得ていきます。	学術的な活動あるいは社会に出たときに広く使える実践的な言語運用能力を身につけます。また、「特殊研究(卒論)」の領域を考慮した「演習」科目によって、英語学・英語教育・英米文学・英語圏やその他の言語文化について広く深い教養と専門的知識、論理的な考察能力を身につけ、修得した英語・日本語等の言語運用能力に基づいて、自己の考えや主張を正確に表現して発信できる能力を修得します。	1~3年次までに学んだ各領域の知見を発展させ、自身の関心のあるテーマに結びつけ、深く探求する力を身につけます。問題発見・解決のための計画を立案・実行し、卒業論文として正確に記述できるようにします。さらに、英語・日本語等の言語運用能力を駆使して得られた知見をまとめ、発信します。

[開講科目(専門科目)]

区分	1年	2年	3年	4年
人文基礎	歴史基礎論 / 言語基礎論 文学研究への招待 / 知識と方法			
現代英語運用	Seminar for Cultural Literacy Seminar for Critical Thinking	Seminar for Core Subjects	Research Writing 言語表現と翻訳技法	
	Reading & Writing		Advanced Academic Skills	
英語学	英語音声学 / 英文法	英語学概論	英語史	
		英語学特別講義		
英米文学	英米文学通史講読 / 英米文学多読入門	英米文学通史講読 / 英米文学発展講読	英語圏文学講読	
	英米文学特別講義 / 米文学特別講義 / 英米詩概論			
英語教育		英語教育講義		
	英語教育特別講義			
留学		Studying Abroad		
学部共通科目	日本文化論 / 中国文学史 / 日中比較文学 / 地域文化研究 / 西洋文化史 / 歴史学講義 / 心理学講義 / 日本文化史講義 中国語文化論 / 比較文学講義 / 異文化コミュニケーション論 / 文化人類学 / 現代日本語の分析 日本語教育教材研究 / 日本語教育評価法 / 日本語学概論 / 日本語史 / 日本文法 / 日本語教授法 / 情報処理発展 歴史学演習 / 思想史演習 / 日本文化論演習 / 中国語文化論演習 / 心理学演習 / 日本語教育演習 / 異文化コミュニケーション演習			
演習			Junior Seminar	
特殊研究				Senior Seminar
卒業論文				卒業論文

取得資格

教職課程の履修により、中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)を取得できます。



文学部英語英米文学科3年 西山 凜さん (熊本国府高等学校出身)

私がこの学科を選んだのはたった一つの理由からです。それは「英語が好き」ということ、それだけを胸に熊本県立大学に入学しました。英語英米文学科では、英語の読む・書く・話す・聞く、の4技能を極めるだけでなく、言語学、人文学、英語教育などの専門的な領域をも学ぶことができます。今までのように、座って英語とにらめっこすることもあります。多読やディスカッション、プレゼンテーションなどで日常的に、楽しく英語を使い、学ぶところがこの学科の特徴です。入学当初は、英語ばかりの講義に緊張していましたが、いまでは友人と楽しく学びを得ています。さらに、留学制度をはじめ、Global Lounge など、英語を学ぶための取組が充実しています。

私には、「英語教師になる」という夢があります。中学生、高校生の頃、英語の授業を楽しく受けていただけ、気が付くと英語が得意で、好きになっていました。私も恩師を目指し、英語教育を深く研究したいと考えています。

コロナウイルスの流行によって想像していた大学生活ではありませんでしたが、探求心を胸に、勉強も白亜祭での委員会活動も積極的に行っています。学業だけでなく、サークル活動も充実しているので、たくさんの人と関わることができ、とても楽しい大学です。これを読んでくれたあなたが少しでも興味を持ってくれたら幸いです。



異文化コミュニケーション演習



言語学演習

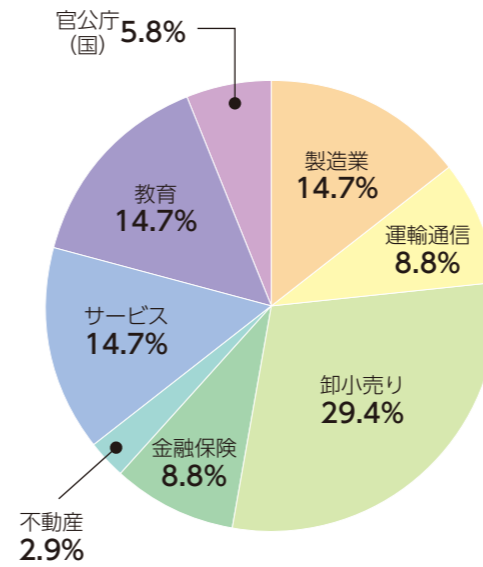


英語教育演習

[卒業後の進路]

英語運用能力を生かし、中学校・高等学校の教員や外資系企業、旅行代理店、航空会社、ホテルなどのサービス業のほか、様々な分野での活躍が期待されます。通訳や翻訳の仕事に進むことができます。もちろん大学院への進学も可能です。

業種別就職状況(2020年度)



主な進路一覧(2018~2020年度)

● 就職

EarthTechnology、アイ・ケイ・ケイ、青山商事、一条工務店熊本、ヴィップシステム、ANA テレマート、ANA 福岡空港、エバーライフ、大分銀行、大阪 YMCA、北九州古賀病院、吉備ケーブルテレビ、崇城大学、筑水キャニコム、九州産業交通ホールディングス、九州旅客鉄道熊本支社、キューネット、紀陽銀行、熊本銀行、熊本県立大学、熊本信用金庫、熊本赤十字病院、熊本ゼミナール、熊本第一信用金庫、熊本中央信用金庫、熊本ホテルキャッスル、KIS、KKT イノベート、コスギ不動産、再春館製薬所、サエキジャパン、ジャパンネットワークグループ、JAL スカイ九州、全日本空輸、全労済、第一生命、タップカンパニー、鶴屋百貨店、東京エレクトロン九州、トリアンフ、トリプルエイト、にしだ、西鉄旅行、日通商事、日通・パナソニックロジスティクス、日本水工コンサルタント、日本郵便、ハウデイ、肥後銀行、平田機工、フューチャーアース、フレイン、ベッセル、堀場エステック、城北高等学校、松浦通運、マリーゴールドホールディングス、宮崎銀行、ヤマエ久野、山口フィナンシャルグループ、ユナイテッドアローズ、リコージャパン、りそなグループ、リョーユーパン、ルートイングループ、ロッキー、ワールドストアパートナーズ、国家公務員、地方公務員、公立学校教員(臨採含む)

● 進学

熊本県立大学大学院(文学研究科)、神戸大学大学院(国際文化科学研究科)、熊本大学大学院(社会文化科学教育部)、九州大学大学院(人文科学府英文学専攻)



〔勤務先〕
日本生命保険相互会社
熊本支社

2017年3月
文学部英語英米文学科卒業

森本 希さん
(ルーテル学院高等学校出身)

「生まれ育った地元で英語をもっと学びたい」という思いで、本学科に進学いたしました。

本学科では、1・2年次に英文法や英米文学など幅広く学び、3・4年次に興味のある分野を選択し、専門的に学ぶことができます。

私自身、他国の歴史や文学・価値観など幅広く学ぶことで、単に英語力を身に付けるだけでなく視野を広げることが出来た大学生活となりました。

現在、私は日本生命で採用担当として仕事をしております。日本生命の顔としてたくさんの学生にお会いし、日本生命の魅力をお伝えしています。多様な考えを持つ学生と関わるこの仕事は、責任が伴い、難しいことも多いですが、大学生活で学んだ「多面的に物事を考える」ということが現在の職務にも活かしています。日本生命では、様々な業務フィールドで働くことができるので、これからも視野を広く持ち、何事にもチャレンジしていきたいです。

大学生活ではたくさんの素晴らしい出会いと学びが待っています。是非皆さんも熊本県立大学で学生生活を楽しんでください!

環境共生学部

Faculty of Environmental & Symbiotic Sciences

環境共生型社会の創造に貢献する人材を育てる

環境共生学部は、環境共生に係わる諸問題を総合的に捉え、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全しつつ、持続的に利用し、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上をめざすことを理念とし、自然環境と人間活動との共生のあり方について教育・研究することを目的とします。

[アドミッション・ポリシー] ~環境共生学部はこのような人を求めています~

本学部は、私たちと自然が共生していく際の諸問題を総合的に捉え、その方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上を目指すことを理念として設置され、環境共生学科のもと、環境資源学専攻、居住環境学専攻、食健康環境学専攻の3専攻で教育研究を行っています。本学部は以下のような能力を持つ学生を求めています。

- ① 環境共生学にかかわる様々な課題に関心を持つ学生
- ② 科学的、論理的思考能力を有している学生
- ③ 高等学校における教科に関してバランスのとれた基礎学力を有している学生
- ④ 理科の科目について十分な学力を有している学生
- ⑤ 英語について幅広い素養を備えている学生

さらに、入学後は、国際的な視野と自然科学・健康科学に係る高度な知識をもとに、人間活動と自然環境との共生にかかわる地域あるいは地球規模の諸問題を総合的に対処できる能力を自ら積極的に学修することによって身につけようと考えている学生を求めます。



環境資源学専攻

- ① 自然環境や生態系の保全について学ぶ意欲をもつ学生
- ② さまざまな環境問題に興味がある学生
- ③ 環境にかかわる専門家をめざす学生

居住環境学専攻

- ① 自然を利用し、人と地球にやさしい環境をつくる技術を開発したい学生
- ② にぎわいに満ちた元気な“まち”、自然豊かで美しい“むら”をつくりたい学生
- ③ 快適な住まいや公共の建築物などの設計をめざしたい学生
- ④ 地震に強く美しい木造建築物・環境に配慮した建築物をつくりたい学生
- ⑤ 建築士として働きたい学生

食健康環境学専攻

- ① 食・健康・環境等の分野に強い関心を有し、将来これらの分野で活躍を目指す意欲的な学生
- ② 社会で活躍する土台となるコミュニケーション能力を持ち、自己のコミュニケーション能力の向上に熱心な学生
- ③ 様々な課題のよりよい解決に向け、自ら問題を発見しようとする探求心とその解決を図るための豊かな想像力を有する学生
- ④ 高等学校卒業レベルの十分な基礎学力を持つとともに、理科学科(化学および生物)に対して興味や関心を持つ学生
- ⑤ 最新の科学的知見を得る上で重要となる英語について幅広い素養を備えている学生

大学院(環境共生学研究科)については→P57

◎2023年度入学定員及び募集人員(単位:人)

環境共生学部 環境共生学科	入学定員	募集人員						
		一般選抜		自己推薦型	特別選抜			
		前期	後期		学校推薦型選抜		留学生・帰国子女 社会人	
環境資源学専攻	15	12	—	県内	全国	農薬・林業・水産科	くまもと夢実現	若干名
専攻 居住環境学専攻	110	20	12	4	4	—	—	全学で 2名以内
食健康環境学専攻	28	8	—	4	—	—	—	若干名

*うち2名以上は熊本県内高等学校卒

環境共生学部 4年間の学び

環境共生学部の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

自然と人間が共生していく際の諸問題を総合的に捉え、その方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上を目指すことを理念とし、環境共生学科のもと、環境資源学専攻、居住環境学専攻及び食健康環境学専攻の3専攻を設けています。

全学共通教育に加え専門科目として、学部共通教育及び各専攻の専門領域の教育を通して、環境共生型社会の創造に貢献する人材の育成を目指し、環境共生にかかわる諸問題と環境共生の理念を理解するため、フィールドワークを含む「導入科目」、自然科学の知識と理解力を養成する「基礎科目」並びに各専攻の専門的な能力を養成する「展開科目」を講義、演習、実習、実験などの順次性に配慮し、体系的に配置しています。

区分	1年	2年	3年	4年
共通科目群	基盤科目 外国語／健康スポーツ科学／ 情報処理とデータサイエンス／ キャリアデザイン／地域理解とリーダーシップ		教養科目 人間と文化／自然と環境／ 社会と世界	※詳細はP21
専門科目群 環境資源学専攻 …P36 居住環境学専攻 …P40 食健康環境学専攻 …P44	学科共通科目 導入科目 「環境共生論」 「現代生活と環境問題」 「居住環境を創る」 「食と環境」 「フィールドワーク」			
	「情報処理実習」		「環境共生総合演習」	
	専門科目 環境資源学領域 居住環境学領域 食健康環境学領域		基礎科目	
	展開科目			卒業研究

[学部長からのメッセージ]

MESSAGE
from
the Dean

環境問題は、人類の活動に由来する地球環境の変化により発生した問題であり、環境問題は人類のあらゆる社会経済活動から発生しうるものであり、環境、経済および社会の諸課題は密接に関係しています。「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核となる「持続可能な開発目標」(SDGs: Sustainable Development Goals)では、経済・社会・環境の諸課題を統合的に解決することの重要性が示されています。

環境共生学部は、環境共生に係わる諸問題を総合的に捉え、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全しつつ、持続的に利用し、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上をめざすことを理念とし、自然環境と人間活動との共生のあり方について教育・研究することを目的として、平成11年4月に設立されました。今年で創設22年目となりますが、本学部は早くよりこの「持続可能な開発」の考えに基づき、教育・研究活動を行ってきたと自負しています。

本学部は2019年4月より3学科であった従来の枠組みを1学科3専攻に改組し、学科という垣根を無くして、これまで以上に専門的かつ学際的な領域の教育、研究および地域・国際貢献活動を実施し、持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成したいと考えています。

環境共生学部長
石橋 康弘



環境資源学専攻

Division of Environmental Resources,
Department of Environmental & Symbiotic Sciences



[専攻の特色]

環境科学を実践的に学ぶ

教室で行う講義に加えて、現場での各種フィールドワーク、沿岸域環境、森林環境、水産環境、植物生産環境に関する4つのアセスメント実習や環境分析化学実験、大気環境学実験、高分子化学実験などの科目において、環境共生にかかわる諸問題の原点である現場での実証的な作業やその実験、実習を体験し、環境問題の複雑さを学び、知識の応用能力を養います。

情報発信能力を養成する

多数の情報処理機器を学生が自由に利用できる体制が整備されており、情報処理に関する演習科目や各実験・実習・演習科目において得られた結果を処理・分析し、レポート作成、結果発表（プレゼンテーション）する能力を養成します。さらに、環境分野においては英語によるコミュニケーションが不可欠になってきているため、ネイティブスピーカーの教員の指導により英会話のみならず環境分野での英語による海外への情報発信能力を養成します。

[環境資源学専攻 4年間の学び]

環境資源学専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

- 1 環境共生に関わる諸問題を科学的に解明し対処するための基礎的な自然科学の知識と理解力を養成し、併せて、環境の成り立ちや生態系の仕組みを理解し、人間活動が環境資源に及ぼす影響を調査、解析、評価する能力を養成するために「専攻専門科目」を置き、環境資源の保全と適正利用による、持続可能な生物資源の生産技術並びに社会発展のための方策について教育します。
- 2 「基礎科目」では、基礎的な自然科学の知識と理解力を幅広く養成するために、理科全般(物理学・化学・生物学・地学)、数学、統計学及び情報処理に関する科目を設置しています。
- 3 「展開科目」では、生態、生物資源、物質環境、環境計画の4分野に関する調査・分析能力を養成するために、各分野の講義科目及び実験・演習科目に加えて、環境評価をフィールドにおいて実践的に体験する4つの環境アセスメント実習(沿岸域環境アセスメント実習、森林環境アセスメント実習、水産環境アセスメント実習、植物生産環境アセスメント実習)を設置しています。
- 4 生態関係科目では、海洋及び森林の生態系の構造と機能、保全と利用のための方策を学ぶ科目を、生物資源関係科目では、海洋及び陸上で生産される生物資源の特性と機能、栽培・増殖法、生産環境、生産物の利用法を学ぶ科目を、物質環境関係科目では、環境における物質循環に関する化学的、物理的な知識と環境への影響評価手法を学ぶ科目を、環境計画関係科目では、環境資源の保全と恒久的利用、持続可能な社会発展に必要な計画論、法規、政策、制度について学ぶ科目を、それぞれ設置しています。
- 5 国境を越え、広域化、国際化する環境に関わる諸問題に対応する能力を養成するために、共通科目群基盤科目の英語科目に加えて、専門科目群専攻専門科目基礎科目に英語科目(Science English)を設置しています。

[開講科目(専門科目)]

区分		1年	2年	3年	4年
学科 共通 科目	導入科目	環境共生論 現代生活と環境問題 居住環境を創る 食と環境 / フィールドワーク			
		情報処理実習		環境共生総合演習	
専門 科目 (環境 資源学 領域)	基礎科目	生物学I・II / 生物学実験 基礎化学 / 有機化学 化学実験 / 物理学I・II / 数学I・II	統計学 / 統計学演習 物理学実験 / 環境情報処理実習	Science English 地学I・II / 地学実験I・II 応用情報処理演習	
	生態		森林生態学 / 森林資源学 / 森林環境アセスメント実習 海洋生態学 / 沿岸環境保全論 / 沿岸域環境アセスメント実習 海藻学 / フランクトン学		
	生物 資源		作物生産学 / 植物食資源学 / 植物生産環境アセスメント実習 水産環境学 / 水産環境アセスメント実習 / 海洋微生物学 魚類環境生理学 / 食資源開発学		
	展開 科目 物質 環境		環境分析化学 / 水環境科学 / 環境分析化学実験I・II 環境素材学 / 高分子化学 / 高分子化学実験 大気環境学 / 大気環境学実験 / エネルギー環境学 環境衛生科学 / 生物濃縮論 / 環境計量演習 食品分析学 / 食品安全性学		
	環境 計画		環境経済学 / 環境関連法規 / 農山村域計画学 都市計画 / 地域景観計画学 / 都市居住政策学		
卒業研究					卒業論文

取得資格

教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状(理科・家庭)・高等学校教諭一種免許状(理科・家庭・農業)が取得できます。また、環境計量士や公害防止管理者の受験に対応しています。



環境共生学部環境共生学科環境資源学専攻3年 **福島 真子** さん (長崎県立西陵高等学校出身)

高校の頃は生物の授業が好きで、自然環境に関することに興味があったため、環境資源学専攻を選びました。この専攻では、海洋、森林、大気などの様々な分野について基礎から知識を身につけることができます。実験科目も多く、環境分析化学実験Ⅱでは、PCR法を用いて自分のDNAを調べたりしました。座学だけでなく、フィールドワークを通して自然に触れながら学ぶことも多いです。コロナの影響による予定変更もありましたが、干潟や森林、無人島での地質調査などがありました。大変でしたが、どれも良い思い出です！環境資源学専攻は約30人と少なく、履修科目もみんなほぼ同じです。なので、学校では同じ専攻の友人と一緒にいることがほとんどです。一緒に昼食を食べたり、おしゃべりをしたり、課題に取り組んだり楽しく過ごしています。アルバイト、サークルでは、県大以外の人や、他の学科の人とのつながりができました。初めてのアルバイトは、覚えることも多く大変でしたが、やってよかったと思っています。3年後期になると、自分が所属する研究室を決めることになります。私は海洋資源学研究室に所属し、プランクトンに関する研究を行う予定です。県大には高性能な分析機器がそろっており、これらを用いて研究ができることは大きな魅力です！自然や環境に興味がある人にピッタリの学科だと思います。ここで素敵なキャンパスライフを楽しみましょう！コロナの影響で大変な時期が続いていますが、皆さんの大学生活が素敵なものになるように願っています！



物理学実験



沿岸域環境アセスメント実習

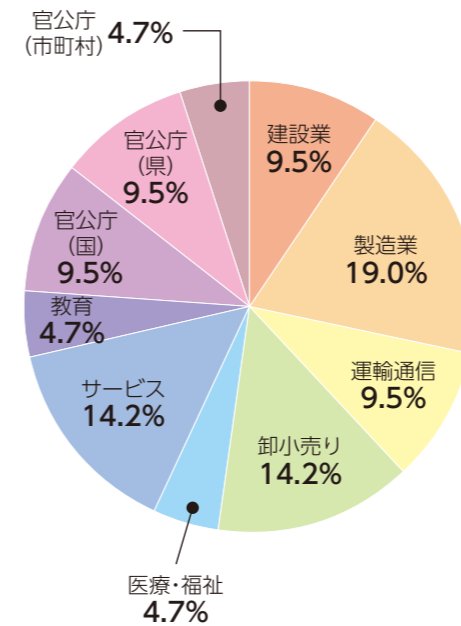


森林環境アセスメント実習

[卒業後の進路]

環境アセスメントにかかわる専門家、地域の発展を環境の面から支えていく公務員、環境のより専門的な分野を掘り下げていく研究者（大学院への進学など）、環境についての次の世代を育てていく教育者への道が拓かれています。

業種別就職状況(2020年度)



主な進路一覧(2018~2020年度)

● 就職

アウトソーシングテクノロジー、アドバンテック、イノス、エネルギープロダクト、大鷲屋、済生会熊本病院、熊本県立大学（嘱託研究員）、熊本市医師会、熊本製粉、熊本森永乳業、KMバイオロジクス、弘乳舎、コスモス薬品、再春館製薬所、ジーエルサイエンス、事業組合システムバンク九州共同センター、資生堂、ジョウツウ、ソフトウエアビジョン、タケエイ、テクノ・カルチャー・システム、テクノクリエイティブ、同仁堂、ニチアス、ニチレキ、農業・食品産業技術総合研究機構、野田市電子、ゆめマート熊本、地方公務員、国家公務員、公立学校教員（臨採含む）

● 進学

熊本県立大学大学院（環境共生学研究科環境共生学専攻）



[勤務先]
フジクリーン工業株式会社

2018年3月
環境共生学部環境資源学科卒業
2020年3月
環境共生学研究科博士前期課程修了

立石 朋 さん
(熊本県立東陵高等学校出身)

私は大学で環境について幅広い分野を学びたいと思い環境資源学専攻を選びました。本専攻では座学はもちろん、実験・実習・フィールドワークが充実しており、学生同士や先生方とも仲がよいアットホームな雰囲気の良い学科です。

私が大学生活で特に印象に残っているのは、3年後期から配属される研究室での研究活動です。これまでのレポート・実験・実習・フィールドワークで学んだことの総集編であり、これをするために大学に入ったと言っても過言ではありません。講義以外の活動としてダイビング部に所属していました。他大学の学生との交流や、OB・OGさんなど年齢層の異なる多くの社会人の方々と関わる機会や一生涯の仲間達と出会えました。

大学生活の中で、環境を守ることに携わる仕事に就きたいと考え、浄化槽メーカー・水処理会社に就職しました。排水をきれいにすることを通して環境をよくしていきたいと思い日々邁進しております。

大学は高校までと比べて学ぶ内容や活動の幅、行動範囲が桁違いに大きくなります。机の上ですることだけが勉強ではありません。沢山のことを学び、いろんなところへ行き、様々な人と出会い、刺激を受け、自分の世界を広げていってください。皆さんが実りある大学生活を送れるように応援しています。

居住環境学専攻

Division of Human Habitat,
Department of Environmental & Symbiotic Sciences



[専攻の特色]

居住環境学専攻では、「地域に密着した題材を通して、従来の建築学科の枠を超える教育・研究」を行っています。近年の社会の流れを根本から転換し、「人と自然、さまざまな人々が共に生き続ける社会」=「環境共生型社会」をめざす熱い心をもち、地域文化や気候風土に根差した「すまい」・建築・都市・農山村などの「環境共生型居住環境を保全・創造する知識、能力、技術を豊富に持った人材育成」をめざしています。

新しいライフスタイルの創出を国際的視点から考える能力の養成

地球温暖化など世界的規模で生じる問題とその解決法を、グローバルに学び、地域に還元する力の養成に努めています。

少人数体制の下、実体験と現場を重視した教育

少人数制を活かして、「居住環境デザイン実習」、「CAD実習」、「居住空間構造・材料実験」などの科目で、現場体験する実践型の教育を行います。また、「フィールドワーク」、「木質材料活用論」など建築・地域などに関するさまざまな見聞を広める貴重な体験学習の科目を設けています。

総合力、構想力の養成

講義などで得た知識を統合化する設計製図などの実習を有機的に関連させたカリキュラムを組んでいます。これらの訓練を通して、構想から形を創る能力や知識を総合化する能力を養成します。

問題の認識と解決方法を深めるための歴史を重視した教育

現代の複雑な問題群を本質的に解決するには、その背景や要因を歴史的に学ぶ必要があります。歴史を通して、先人の知恵を学び、現代の問題群を根本的に理解できる教育に努めています。

[居住環境学専攻 4年間の学び]

居住環境学専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

本専攻の「環境共生」の理念のもと、環境への負荷軽減、人間の健康・福祉などを重視し、住居から建築・都市・地域に至る居住環境の全体を見据え、実体験に基づいた科学的認識能力と、居住環境をまもり育てる専門的な技術をもった人材を育成します。そこで、以下のようなカリキュラムを編成しています。

- 1 本専攻は居住空間計画、都市・地域計画、環境調整・設備、構造・材料の4分野から構成され、各分野において基礎から応用まで段階的に修得できるように科目を設置しています。基礎的な科目はすべて必修科目に指定し、初年度から基礎的な実習を取り入れて主体的な学修を促します。また、実習・演習の科目を多く設け、講義で得た知識を実験実習で体感し、自ら主体的に取り組み、より深く認識できる構成としています。
- 2 居住空間計画及び都市・地域計画分野では、地域の課題を浮き彫りにする内容とともに、国際的な視野で課題を考えることができる力を養うべく、多くの外国事例などをとりあげて幅広く講義する科目群を設置しています。
- 3 環境調整・設備及び構造・材料分野では、自然環境との共生と環境負荷の軽減を目指すとともに、人と地球にやさしい建材である木質材料を重視した関連科目群を設置しています。
- 4 卒業時に、二級建築士の受験資格が得られるカリキュラム構成としています。また、所定の単位を修得すれば、一級建築士の受験資格が得られます。更に様々な進路も選択できるようなカリキュラム構成としています。

[開講科目(専門科目)]

区分		1年	2年	3年	4年
学科共通科目	導入科目	環境共生論 現代生活と環境問題 居住環境を創る 食と環境 / フィールドワーク			
			情報処理実習	環境共生総合演習	
専門科目(居住環境学領域)	基礎科目	数学Ⅰ・Ⅱ / 図学 / 物理学Ⅰ・Ⅱ 居住環境デザイン実習Ⅰ・Ⅱ	CAD実習Ⅰ	応用情報処理実習	
	都市・地域計画		比較都市文化論 / 都市計画 / 都市居住政策学 農山村域計画学 / 地域景観計画学 / 地域計画論		
	居住空間計画		建築史 / 住空間計画学 / インテリアデザイン論 / インテリアデザイン実習 比較住文化論 / 建築計画学 / 木質デザイン論 / 福祉住環境原論		
	環境調整・設備		建築環境工学Ⅰ・Ⅱ / 環境設備学 環境設備システム学 / 環境設備システム学演習 環境調整工学 / 居住環境調整工学実験		
	構造・材料		建築構法 / 建築構造の基礎 / 木質構造学 / 静定構造力学 / 静定構造力学演習 居住空間材料学 / 不静定構造力学 / 不静定構造力学演習 鉄筋コンクリート構造学 / 居住空間構造・材料実験 / 鉄骨構造学		
	全体共通		居住環境デザイン実習Ⅲ～Ⅵ / 木質材料活用論 / CAD実習Ⅱ / 建築施工学 環境防災・安全工学 / 建築法規 / 森林生態学 / 海洋生態学 / 地学Ⅰ・Ⅱ / エネルギー環境学 大気環境学 / 環境関連法規 / 環境経済学 / 地方自治論 / 公共政策論		
卒業研究					卒業論文

取得資格

一級建築士および二級建築士の受験資格が得られます。また、教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状(理科・家庭)・高等学校教諭一種免許状(理科・家庭・農業)が取得できます。その他、卒業後取得可能な資格として、1級建築施工管理技士及び2級建築施工管理技士があります。(1級建築施工管理技士は、卒業後3年以上、2級建築施工管理技士は、卒業後1年以上の実務経験が必要です。)在学中に取得できるものは、インテリアプランナー、福祉住環境コーディネーター、インテリアコーディネーター、カラーコーディネーター検定、色彩検定、照明コンサルタントなどがあります。



環境共生学部環境共生学科居住環境学専攻3年 淵上 絢佳 さん (熊本県立済々黴高等学校出身)

中学生の頃から、旅行先で見る建物の外観だけではなく、「内部の構造や使われている材料はどんなものだろう」ということに興味がありました。大学受験を控え進路を選択する中で、建物とそれが在る環境がいっしょに学べる場所はないだろうかと考え、この専攻がある大学を選びました。また、入試科目が自分の得意科目と一致したこともありました。

建築設計、建築計画、建築設備、建築構造や都市計画などの分野にわかれ、建築物に関するだけでなく、建築物内外の環境、まちの環境までとても広範囲にわたって学習しています。また小国町のフィールドワーク(木質材料活用論の講義で学習した構造や材料を実際に見る)、伝統構法で建築中の住宅見学(木質デザイン論の講義で学習した軸組を見る)といった熊本の特色を学ぶことができる講義もあります。長期休みのまとまった時間を利用して旅行に行き、あちこちの街並みや建物を観ることを楽しんでいます。また、その地元の方にどんな街づくりをされているのか、どのように昔からの建造物を守っているのかと聞いたりもします。

建物はもちろん、ものづくりやまちづくりなどに興味がある人におすすめです。学年が上がるにつれて、具体的な物に触れながら学習するので、自分の興味があることを追究していくことができると思います。



居住環境デザイン実習



居住環境調整工学実験

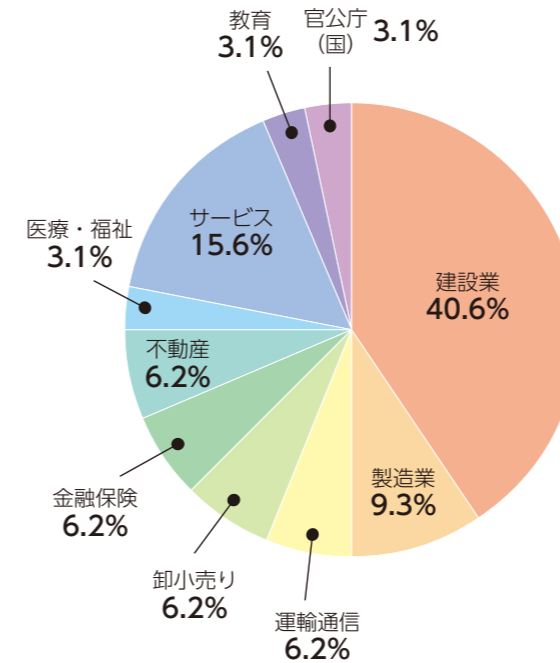


ワークショップの様子

[卒業後の進路]

建築・構造・設備各関係の設計事務所、住宅・建築・不動産開発などの会社の企画・技術者、家具やインテリア製品メーカーの企画・デザイナー、建築材料・機器メーカーや流通部門でも専門スタッフなどのほか、国・都道府県をはじめ自治体の上級・専門職への道が拓かれています。大学院進学者も多数います。

業種別就職状況(2020年度)



主な進路一覧(2018~2020年度)

● 就職

アイ・ウッド、アウトリアタイガー、朝日開発コンサルタンツ、アダル、アネシスホールディングス、有明測量開発社、岩永組、ウエスコ、梅林建設、ANA沖縄空港、奥羽興産、ガーデンギャラリー・タケウチ、カリノファシリティーズ、カリモクグループ、カワゴエ、熊本県農業共済組合、熊本大学、景観都市設計、健康住宅、コイズミ照明、Koizumi Studio、コスモス薬品、再春館製薬所、シアーズホーム、シアーズホーム、シミズ・ビルライフケア、松栄パナホーム熊本、昭和建設、新規建設、シン・空間研究所、新産住拓、スペースエージェンシー、すまい工房、住友林業ホームテック、住友林業緑化、セキスイハイム九州、積水ハウス、ゼネラルアサヒ、善徳丸建材、大東建託、大和リース、TAKASUGI、高野木工、タカラスタンダード、谷川建設、タマホーム、ツカサ創研、ツクイ、鉄建建設、TOTOアクアエッジ、長崎船舶装備、西日本高速道路エンジニアリング九州、ニッカホーム、ニッポン工業(NICO)、ハウジングプラザ、肥後銀行、ファミリアホーム、藤井電機、フジタ、洞口(ネイエ設計)、MACRI、ミサワホーム九州、ミライト情報システム、村上建築設計室、山本建設、Lib Work、ロジック、地方公務員

● 進学

熊本大学大学院(自然科学教育部土木建築学専攻)、鹿児島大学大学院(理工学研究科建築学専攻)、広島大学大学院(工学研究科)、首都大学東京(都市環境学部都市政策科学科)



[勤務先]

株式会社シアーズホーム
設計部IC課

2021年3月
環境共生学部居住環境学科卒業

松永 亜由美 さん
(熊本県立大津高等学校出身)

高校3年生の時に熊本地震を経験したことから建築について興味を持ち、居住環境学科を志望しました。大学では、設計はもちろん、インテリアや都市計画、構造など幅広い分野について学び、構造の実験や学生だけで大学の中庭に東屋を建てる中庭プロジェクトなど、座学以外にも貴重な経験をすることができました。また、公共施設や住宅の設計やインテリアデザイン実習、CAD実習など自分が考えたものが目に見える形になることはとても達成感がありました。設計課題では締め切りギリギリまで友人と頑張って仕上げ提出することが多く、当時は大変に感じていましたが今ではいい思い出です。大学生活では周囲の人に恵まれ、サークルの活動など様々な経験ができました。特に白亜祭実行委員会では白亜祭が盛り上がるように約1年間かけて準備を行い、白亜祭を終えたときに味わった達成感が記憶に残っています。現在はインテリアコーディネーターとしてお客様と打ち合わせを行い、建具や壁紙、照明などインテリアの提案を行っています。大学で学んだインテリアや建築に関する知識はもちろん、フィールドワークなど建築以外の内容も学ぶ機会があったため、その経験がお客様とお話しするときに活かしていると思います。

よく聞くとと思いますが、大学4年間は本当にあっという間です。新しい人と会う機会がたくさん増えるため一気に自分の世界が広がると感じます。すべての経験が今の自分の考え方や行動につながると思うため、ぜひ色々なことに挑戦し多くの経験を積んでください。

食健康環境学専攻

Division of Food & Health Environmental Sciences,
Department of Environmental & Symbiotic Sciences



[専攻の特色]

“食”を通じて“健康”を、“環境”を通じて“食”を考える

食健康環境学専攻では、食品の機能、人体の構造と機能、栄養素の体内での代謝、食生活改善による生活習慣病の予防、疾病時の栄養管理、バイオテクノロジーと食品開発、食品の安全性と健康、運動と健康管理、食糧生産など、食料・健康・環境にかかわる諸問題を科学的に解明し対処するための知識と実践力を養います。

また、フィールドワークや多数の実験・実習科目を通して、基礎知識を確実に身につけ、さらに応用力や創造性を高めることをめざします。

高度な教育・研究の推進によって多分野で活躍できる人材を育成

本専攻では「人と社会と自然との共生」の視点から、自然環境へやさしく、地域の環境特性を反映した「食と健康」について高度な教育・研究を行い、食と健康、食料を取り巻く環境問題、生命科学、バイオテクノロジーなど、“食”を総合的かつ多面的に掘えることができる『食のスペシャリスト』を養成しています。このほか管理栄養士養成施設として、管理栄養士を養成するだけでなく、食と健康に関する高度な知識と実践の方法を学びながら、問題解決能力と研究能力を高め、応用力のある管理栄養士の輩出をめざしています。

[食健康環境学専攻 4年間の学び]

食健康環境学専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より一部抜粋

- 1 自然科学に関する基礎的知識を基にして、専門分野における知識と技術の修得が可能となる科目を、段階的に、総合的に学修できるように配置しています。特に、大学教育で得られた知識をもとに自ら考え、発展させる能力や、レポート作成、プレゼンテーション能力などを養うことを目指し、実験・実習・演習科目を重点的に配置しています。
- 2 食・健康・環境に関わる様々な問題を国際的な視野をもち、地域の立場から、自ら発見し解決する思考力・判断能力を修得するための科目を配置しています。
- 3 自然環境や地域の環境特性を反映した地域住民の健康づくり、疾病の予防・治療、食品開発などに寄与できる技術や態度を修得できるように、食品の機能、人体の構造と機能、栄養素の体内での変化、食生活と生活習慣病予防、疾病と栄養、バイオテクノロジーと食品開発、食品の安全性と健康、身体活動と健康管理、食糧生産などに関連する科目を配置しています。
- 4 基礎科目では、食品、栄養、運動および健康を学ぶための基礎となる化学と生物学に関連する科目ならびに物理学、統計学を含む科目を設置しています。展開科目の食環境関連科目では、食をめぐる環境に関し、食品の物理・化学的性質と調理・加工・流通にともなう変化ならびに食品の安全性を理解した上で、環境と共生できる食資源の開発・利用を学ぶ科目を配置しています。また、展開科目の健康環境関連科目では健康をめぐる環境に関し、食品機能・栄養化学、解剖・運動生理など、人体の構造・機能を理解した上で、食や運動を通じた健康管理・増進について学ぶ科目を配置しています。

[開講科目(専門科目)]

区分		1年	2年	3年	4年
学 科 共 通 科 目	導入科目	環境共生論 現代生活と環境問題 居住環境を創る 食と環境 / フィールドワーク			
		情報処理実習		環境共生総合演習	
専 門 科 目 群	基礎科目	生物学 / 生物学実験 / 基礎化学 化学実験 / 生命有機化学 有機化学 / 生化学 / 物理学	物理学実験 / 統計学 / 統計学演習	生化学実験 / 応用情報処理実習	
	食環境	調理学 / 調理学実習 / 食品学総論 / 食品化学 / 環境衛生学 / 作物生産学 / 食文化論 食資源開発学 / 食品学各論 / 植物食資源学 / 食品製造学 食品微生物学 / 食品分析学 / 食品分析学実験 / 食品加工学 / 食品加工学実験 / 食品バイオテクノロジー 食品バイオテクノロジー実験 / 食品衛生学 / 食品衛生学実験 / 食品保存学 / 食品安全性学			
	健康環境	解剖生理学 / 栄養教育論 / 環境生理学 / 環境生理学実習 / 栄養学総論 / 解剖生理学実験 / 栄養学実験 発育発達運動学 / 栄養生化学 / 栄養学各論 / 栄養教育論実習 / 栄養指導論 / 生体防衛学 給食経営管理学 / 臨床医学概論 / 健康管理学 / 栄養運動生理学 / 栄養運動生理学実習 ライフステージ栄養学演習 / 栄養機能性学 / 給食管理実習 給食経営管理臨床実習 / 公衆栄養学 / 疾病論 / 栄養情報管理学 / 臨床栄養学実習 / 臨床栄養学実習 生活習慣病予防学 / 臨床栄養学実習 / 公衆衛生学 / 臨床治療学実習 / 臨床栄養学実習 / 臨床栄養学実習 地域栄養学実習 / 公衆栄養学実習 / 臨床外科栄養学 / 実践栄養学総合演習 臨床栄養治療学 / 臨床代謝栄養学			
卒業研究					卒業論文

取得資格

所定の科目を履修することで栄養士免許が取得でき、管理栄養士国家試験の受験資格が得られます。また、教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状(理科・家庭)・高等学校教諭一種免許状(理科・家庭・農業)、栄養教諭一種免許状が取得できます。食品衛生監視員及び食品衛生管理者(任用資格)の取得も可能です。



環境共生学部環境共生学科食健康環境学専攻3年 浅野 ひかり さん (福岡県立朝倉高等学校出身)

私は、小学生の頃から給食の時間が大好きで、将来は給食を通して子どもの健康や学校生活を支えたいという想いがあり、管理栄養士と栄養教諭という職業を目指すようになりました。食健康環境学専攻では食事や栄養に関する勉強だけではなく、医学や運動、環境など健康に関する様々な分野を深く学んでいます。この専攻では、化学や生物学の実験から調理スキルを磨く調理実習、治療食実習など実践的な授業が多く、座学だけでは得られない経験を重ねることが出来ます。これらの実習を通して私は、管理栄養士の職業への理解や、先生や仲間とのコミュニケーション、そして社会人になるまでに習得しておきたいレポート作成の技術などを深めることができました。また、この専攻では毎年文化祭でお菓子を販売する伝統があります。私たちの代では残念ながらコロナウイルス感染拡大防止のため文化祭がWEB開催となりました。文化祭でのお菓子の販売が中止となりましたが、別日に学内販売という形でドーナツ販売を実施し、専攻内の仲間と団結して成功させることができました。熊本県立大学では、このような自身の可能性を広げる取り組みをサポートする環境が整っています。管理栄養士は就職先が様々あり、自分の興味のある分野を在学中にじっくり探していくことが出来ます。人が生きるために必要不可欠な食事について専門的にサポートできる素敵な職業を皆さんも一緒に目指してみませんか？



生物学実験B



食品バイオテクノロジー

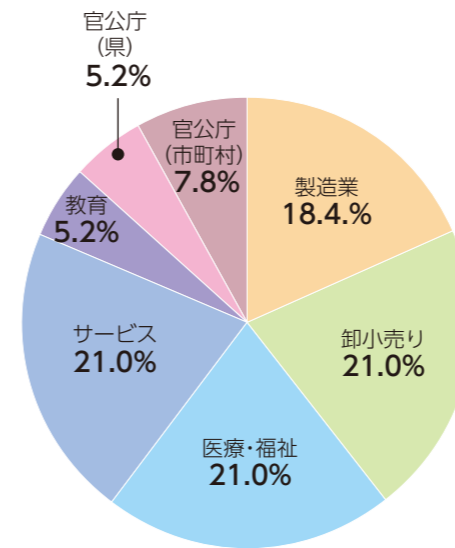


栄養運動生理学実習

[卒業後の進路]

環境共生学部の理念のもと、「食」と「健康」、そして「環境」について学んだ卒業生は、ある特定の分野に限らず、さまざまな方面で活躍しています。進路は、食品・医療・健康関連企業、病院・保健所・福祉施設・小中学校などでの管理栄養士業務や研究開発業務、行政機関（保健・福祉・食品・環境分野）、教職（理科・家庭・農業・栄養）などへの道が拓かれています。

業種別就職状況(2020年度)



主な進路一覧(2018~2020年度)

● 就職

アステム、天草市立栖本小学校(学校栄養職員)、アラハタ、一富士フードサービス、井村屋、ウィルオブワーク、エイチ・エル・シー、エムサービスジャパン、エムサービス、えがお、エンゼル保育園、鹿児島ターミナルビル、釜屋、唐十、菊池郡医師会、近畿健康管理センター、熊本県酪農業協同組合連合会、熊本製粉、熊本赤十字病院、熊本大学医学部附属病院、熊本中央高等学校、グラットン、KMバイオロジクス、光晴会病院、公立菊池養生園診療所、国立病院機構、済生会熊本病院、桜十字病院、sublime、三協デリカ、C-mind、JR九州フードサービス、島根大学医学部附属病院、新生技術開発研究所、新別府病院、住友生命、ダイワボウ情報システム、タカキベーカーリー、WDBエウレカ社、たらみ、中央工機、鶴屋百貨店、ドラッグストアモリ、永富調剤薬局、中村学園、西日本フード、西原商会(グループ)、日清医療食品、日本食品検査、日本食研ホールディングス、日本赤十字社熊本健康管理センター、日本リモナイト、ハウディ、花味亭、馬場病院、久光製薬(九州本社)、美十、藤崎台童園藤崎台保育園、富士産業、フジパングループ本社、保健支援センター、マルキン食品、丸美屋、南九州ニチダン、美濃吉、モードプランニング・ジャパン、ヤマエ久野、ヤヨイサンフーズ、淀川食品、米盛病院、LAVA International、LEOC、ロッキー、国家公務員、地方公務員、公立学校教員(臨採含む)

● 進学

熊本県立大学大学院(環境共生学研究科環境共生学専攻)、広島大学大学院(統合生命科学研究科)、熊本大学大学院(社会文化科学教育部法政紛争解決学専攻)



[勤務先]
宮崎県福祉保健部
健康増進課

2019年3月
環境共生学部食健康科学科卒業

長倉 千花 さん
(宮崎県立小林高等学校出身)

中学時代から食に興味を持ち始め、食事・栄養の面から疾病を予防したいという思いから管理栄養士を目指し本学科に進学しました。本学科では、講義だけでなく、食品や微生物に関する実験、給食管理や生理学に関する実習など、実践的な授業が多く、食や栄養について多角的な視点から学ぶことができました。卒業後は宮崎県庁に入庁し、現在は保健所で管理栄養士として県民の健康づくりの推進に携わっています。コロナ禍である今、全てのライフステージにおいて「健康づくり」「食」は重要であると実感しています。また行政だけでなく、病院の管理栄養士として幅広い業務に携わることができるため、大学4年間で学んだ様々な知識や経験が活かされていると思います。近年、管理栄養士が活躍する場はますます広がってきているため、将来の夢が定まっていなくても、大学生活を通して自分のやりたいことや目標を見つけてほしいです。

4年間一緒に学び、お互い支え合いながらそれぞれの目標に向かって頑張れる大切な仲間に出会えたことも、私が本大学に入学して良かったと感じることの一つです。ぜひ皆さんも、先生方や仲間との出会いを大切に、様々なことに挑戦し、充実した大学生活を送ってください。

総合管理学部

Faculty of Administrative Studies

行政から企業まで、活躍の場を選ばない「総合管理能力」を究める

総合管理学部は、多様化、複雑化してきた社会の諸問題を、総合的に捉え、解決していくため、社会学、行政学、社会福祉学、経営学、情報学などを統合・体系化した総合管理（アドミニストレーション）学を専門的に教育・研究することを目的とします。

[アドミッション・ポリシー] ~総合管理学部はこのような人を求めています~

総合管理学部は、社会的諸課題を正しく捉え、それを実践的に解決していくことを学ぶ社会科学系の学部です。社会的諸課題を解決していく実践的な人材養成に向けて、学部の入学者受け入れ方針を次のように定めます。

- ① 社会の諸課題に興味を持ち、それを解決していこうとする意欲と態度を備えている人
- ② 課題解決のために、他者と協動的に活動していける人
- ③ 課題を正しく把握するために、多様な視点で柔軟に考えていける人
- ④ 多様な知識とスキルから成る総合管理を学ぶために、高校までの幅広い基礎学力を持っている人



◎2023年度入学定員及び募集人員（単位：人）

総合管理学部	入学定員	一般選抜		自己推薦型	募集人員				
		前期	後期		学校推薦型選抜		特別選抜		
					県内	全国	留學生・帰国子女 社会人	くまもと夢実現	
学科	総合管理学科	A方式 30 B方式 60	A方式 40 B方式 50	50	50	-	-	全学で 2名以内	若干名

A方式：大学入試センター試験5教科利用
B方式：大学入試センター試験3教科利用

[学部の特色]

1 これからの時代に必要不可欠な「総合管理」、1年次から理論と実践の両輪を学ぶ

「総合管理」とは何なのか？ まずはその基礎をしっかりと学び、理解することが大切です。その土台の上に課題解決に必要な幅広い知識を修得し、実践的な演習を繰り返すことで、「総合管理能力」を発揮する人材を育成することが可能となると考えます。理論と実践、その両輪を本学では1年次から一貫して学ぶことができます。

- 1年次から「基礎総合管理」を設置、その体系を理解し学ぶ
- 課題解決に必要なさまざまな知識修得のための必修・選択科目群を設置

2 1年次から卒業まで一貫して、PBLなど少人数でのアクティブラーニングで実践力強化

教員からの一方的な講義で「知識」を得ることだけでなく、学生たちが主体的に参加、トライ&エラーを繰り返しながら、仲間と一緒に深く考えながら課題を解決する力を養っていくアクティブラーニング形式の演習で実践力を磨きます。PBL (Project-Based Learning: プロジェクト型学習) など、少人数での議論やグループワークでの学修に、全学生が1年次から取り組みます。

- 全学生が1年次から演習形式のアクティブラーニング
- 2年次にはリーダー育成プログラムを開講

3 多様な知と実践力で公共・福祉、ビジネス、情報など360度さまざまな分野での「総合管理能力」を身につけられる

マネジメントやリーダーシップを学べる大学は他にもたくさんあるでしょう。しかしそれだけでは、ますます複雑化する世の中の課題解決には不十分です。多様な知と実践力を伴った「総合管理能力」を有した人材が切実に求められるのです。

- さまざまな分野・領域で「総合管理能力」を応用、展開
- いろいろなことを学び、「総合管理能力」で未来へ飛躍

[学部長からのメッセージ]

総合管理学部は、教養的知識と総合管理に関する専門知識を身につけ、社会的諸課題を創造的に解決し、地域社会ひいては国際社会に貢献する人材を養成することを目的としています。社会的な課題のほとんどは、一人では解決することはできません。その解決には複数の人、複数の組織の連携が必要であり、それを実現するためには「みんなを上手く動かし協力させていくこと」ができるリーダー人材が求められます。そのために必要な理論やマネジメントの手法の体系が「総合管理学」です。

総合管理学部では、1年次から段階的に総合管理について学べるようにカリキュラムを設計しており、理論だけでなく実践力もバランスよく身につけることが可能です。皆さんは全員1年次からアクティブラーニング形式の演習に参加し、実践的な場面を想定した課題に取り組むことで課題解決のための知識や技法を学びます。専門分野では公共・福祉、ビジネス、情報の3分野の科目がバランスよく配置され、多様な考え方や専門分野を学ぶことで複雑な社会的課題に柔軟に対応できる能力が養われます。また、情報化・国際化する社会に対応するために情報処理や外国語を必修とし、1年生全員にICTスキルを身につけさせたりTOEICを受験させるなど、情報通信技術や外国語の修得にも力を注いでいます。

総合管理学部では、ウイズコロナ、アフターコロナの時代の新しい大学教育の形として、遠隔授業と対面形式を組み合わせたハイブリッド型の授業を行っています。あるときはICT機器を活用しながら講義を受講し、あるときは対面で教員や学生同士でふれあいつつ課題に取り組むといった形で、安心・安全と深い学びを両立させたキャンパスライフをおくることができるでしょう。

総合管理の知識を身につけ、リーダー人材として成長したいと望む皆さん、ぜひキャンパスでお会いしたいと願っています。

総合管理学部長 澤田 道夫

MESSAGE
from
the Dean

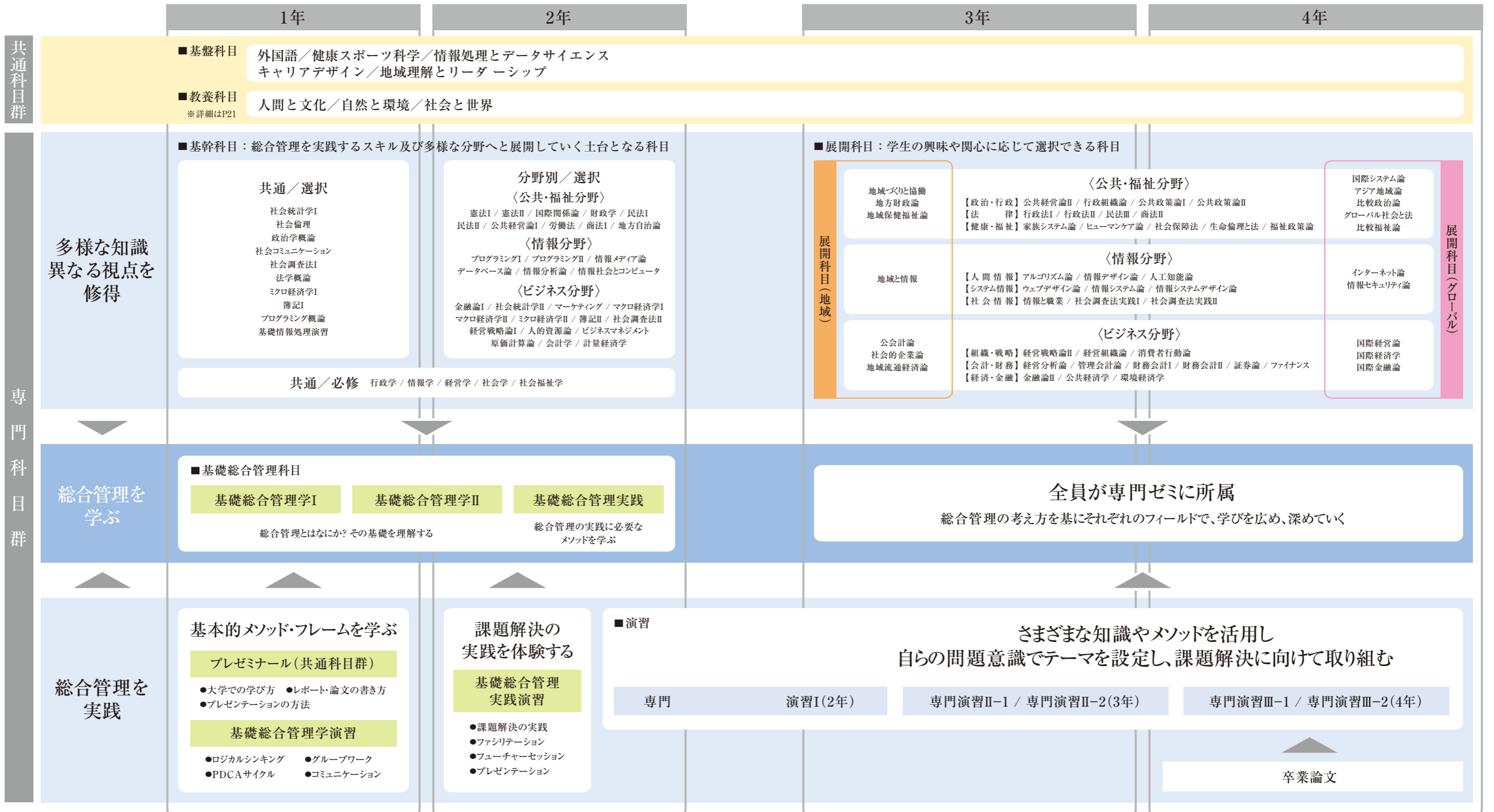


総合管理学部 4年間の学び

- 現代社会に相応しい市民性を涵養するための共通科目群と、総合管理の理論と方法の修得のための専門科目群で教育課程を編成しています。
- 専門科目群は、基礎総合管理科目、基幹科目、展開科目、専門演習・卒業論文を体系的に配置して編成しています。

取得資格

教職課程の履修により、中学校教諭一種免許状（社会）・高等学校教諭一種免許状（公民、商業、情報）を取得できます。





総合管理学部総合管理学科(公共・福祉)4年 吉居 晴夏子 さん (長崎県立佐世保西高等学校出身)

専門範囲の広さに魅力を感じ、総合管理学部を選びました。公共・福祉、情報、ビジネスについて総合的に勉強する中で、興味を持った分野はより専門的に学べます。さらに、各々の分野の視点を持つことができ、物事を多角的に考えられるようになりました。

現在は、高校生を対象とした、自殺者を減らすための教材制作に注力しています。内容をチームで話し合い、精神保健福祉センターの方に発表し、改善するという活動の中で、正しく伝える難しさを実感しながら学んでいます。

勉強以外では、学園祭実行委員会のお笑いライブ部署に所属していました。大好きな芸人さんと間近で会うことができたり、司会を務めて350人以上の方に見てもらえたり、やりがいがありました。

大学生活は想像以上に自由な時間があります。だから、何でも良いので目的や目標を持って入学することをおすすめします。私は、漠然と留学したいな、と思って入学し、コロナ禍で諦めました。ですが大学の制度を利用して、ネイティブの先生と英会話をしたり、海外の学生とテレビ電話をしたりしたことで、英語力を伸ばせました。なりたい姿を具体的にイメージして、他の人とは比べずに、自分らしく受験を乗り越えて下さい。



総合管理学部総合管理学科(ビジネス)3年

松村 優美子 さん

(熊本県立済々黌高等学校出身)

私は入学前、将来何をしたいのか、どんな仕事に就きたいのか漠然としていました。総合管理学部では、公共・福祉、情報、ビジネスの3つの分野を幅広く学習することができ、専門的な知識を習得することができます。このほかにも、必修科目である外国語や情報処理、キャリアデザインなど多くの分野を学ぶことができます。

ここで習得した様々な分野の知識は、どんな職種に就いたとしても役に立つと考えたため、総合管理学部を選びました。私は、3つの分野の中でも特にビジネス分野に興味を持ち、現在は管理会計や簿記、経営戦略、マーケティングなどを学んでいます。また、2年の後期から始まる専門演習では、他の大学と合同で業界や企業の戦略や財務諸表を分析し、発表しました。私は入学前から語学に興味があったため、英語以外にも初修外国語では韓国語を選択し、1年次には入門・基礎を、2年次では発展を履修しました。授業では実際に発音したり、会話することでより理解を深め、知識を身につけることができました。学生生活では、勉強以外にアルバイトや習い事、遊びなど充実した毎日を送っています。

総合管理学部では様々な分野を幅広く学習することができるので、その中で自分に合ったものや好きなことを見つけることができますと思います。そこからさらに自分の興味のある分野を専門的に学んでいくことができます。皆さんもぜひ総合管理学部で将来の目標を見つけ、一緒に学んでいきましょう。



総合管理学部総合管理学科(情報)3年

米倉 詩香 さん

(熊本学園大学付属高等学校出身)

私は高校時代、ビジネス分野に興味があったものの、夢や目標が持てずにいました。そのような状況の時に担任の先生が「ここなら様々な分野を勉強した後に専門を決めることができるよ」と総合管理学部を勧めてくださったことが進学のかっけでした。入学してからは、チームで実際の企業を相手にプランを検討しプレゼン

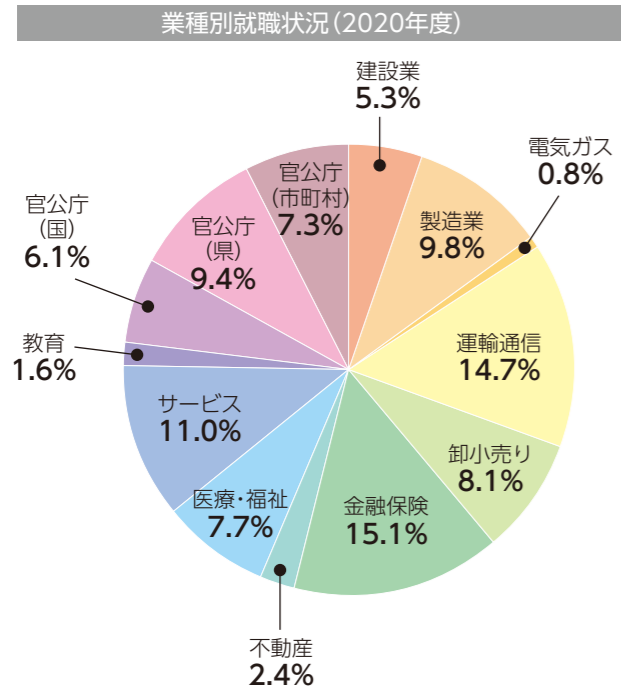
をする実践的な授業や、初めは興味を持てなかった情報の授業など、様々な学びを得ることができました。授業だけでなく、地域活性化プロジェクトであるKUMAJEKTにも参加し、地域振興についても学びました。

2年次後期から始まる専門演習では、情報分野の研究室に希望通り配属されました。それまでの学びから得られた「これからの社会課題解決にはITが必要だ」という私の思いが、研究室の方針に合致していたためです。現在は、アプリ開発を伴う実践的な研究において、チームリーダーとコンテンツのデザインを担当しています。研究室では、研究テーマの検討の段階からすべて学生が主体的に行う学習環境が整えられているため、プログラミング以外の知識やスキルも同時に体得することができます。これからも、ITで社会課題を解決するために必要な知識やスキルの習得に励んでいきます。

受験生のみなさんは、「とりあえず興味のある学部に行こう」と思っている方も少なくないと思います。総合管理学部では、一度様々なことを学んで吸収した後に、とりあえずではない本当に学びたい分野を決めることができます。みなさんも是非、総合管理学部で自分だけの道を見つけてください。

【卒業後の進路】

国家公務員、地方公務員はもとより、民間では銀行、生保、損保、病院、旅行会社、航空会社、テレビ局、不動産、学校、メーカー、サービス、流通と就職先は多岐にわたっています。



主な進路一覧(2018~2020年度)

● 就職

RKKCS、RKKメディアプランニング、アイオ、あいおいニッセイ同和損害保険、IQキッズ、アイソルート、アイベックスエアラインズ、アイリスオーヤマ、アウトソーシングテクノロジー、アウトソーシング、青山商事、旭製作所、旭電業、アズパートナーズ、麻生情報システム、阿蘇市社会福祉協議会、アドルーム、あゆみ不動産、アントルメ果樹、イーサポート、イービーエム、イオン九州、出雲総業、イタックス熊本オフィスセンター、一条工務店熊本、いどり歯科こども歯科クリニック、岩田産業、岩田屋三越、インタースペース、ウィークス、ウイナス、内村酸素株式会社、エイ・エヌ・エス、エイジェック、えがお、SHI、エステート白馬、N・I・K、NOK 熊本事業場、NTTデータ、エネサンス九州、F&Bシモカワ、エフ・ディ・シー・フレンズ、エン・ジャパン、大分ケーブルテレコム、大分こども病院、大馬屋、大塚商会、オオバ、オリックス生命、済生会熊本病院、済生会福岡総合病院、鹿児島大学、鹿児島トヨペット、カゴヤ・ジャパン、上益城農業協同組合、神山モーターズ、ガモウ、鹿本農業協同組合、菊池地域農業協同組合、キシヤ、木村、キャン、九州オーエム、九州産交運輸、九州産交交通ホールディングス、九州ベースボールアカデミー 熊本校、九州労働金庫、九電工、キューネット、qbe学園九州美容専門学校、共栄システムズ、協電機工、京都きもの友禅、グッデイ、グッドハート、熊日サービス開発、熊日都市圏販売、熊本銀行、熊本計算センター、クマモト敬和、熊本県医師会、熊本県果実農業協同組合連合会、熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県国民健康保険団体連合会、熊本県信用保証協会、熊本県赤十字血液センター、熊本県酪農業協同組合連合会、熊本酸素、熊本市勤労者福祉センター、熊本市農業協同組合、熊本商工会議所、くまもと森都心プラザ プラザ図書館、熊本市医師会、熊本信用金庫、熊本整形外科病院、熊本赤十字病院、熊本ゼミナール、熊本セントラル病院、熊本第一信用金庫、熊本大学、熊本大同青果、熊本地域医療センター、熊本地所、熊本中央信

用金庫、熊本電気鉄道、熊本泌尿器科病院、熊本ヤクルト、熊本労働局、クアスライフ、クレスコ、glowship、KIS、KMバイオロジクス、KKTイノベート、警視庁、慶信会 城南学園、KCVコミュニケーションズ、合志技研工業、コーサー化粧品販売、国立病院機構九州グループ、コスギ不動産、コスモス薬品、コミュニケーションワークス、Cygames 佐賀デバッグセンター、再春館システム、再春館製菓所、再春館システム、佐賀県信用保証協会、佐藤企業、シアーズホーム、GA technologies、GMOフィナンシャルホールディングス、JR九州ハウステンボスホテル、慈恵病院、静岡県経済農業協同組合連合会、SYSKEN、嶋田病院、島根富士通、社会保険診療報酬支払基金、JALスカイ九州、ジャルパック、十八銀行、ジュビターテレコム、昭和建設、白石、新産住拓、ジンマー・バイオメット、スーパー・コート、スギホールディングス、スタジオアリス、生科研、生活協同組合くまもと、西部電気工業、セブンイレブン・ジャパン、セルモ、zerophy、Zero-Ten、全国共済農業協同組合連合会、全労連、仙台北百合学園中学・高等学校、善徳丸建材、全日本空輸、総合企画、総合プラント、崇城大学、医療法人相生会、ソニー損害保険、ソフトウエアビジョン、ソラシドエア、第一生命、大東建託リーシング、大和証券、大和リビングマネジメント、大和冷機工業、高木病院、高本損害鑑定事務所、タケナカ、タップカンパニー、地域医療機能推進機構(JCHO)、中央印刷紙工、塚本満税理士事務所、津具屋製菓、鶴屋百貨店、ディアーズ・ブレイン、DY M、ティー・ツー・クリエイティブ、テクノクリエイティブ、デフィデ、天水総合カンパニー、電盛社、東京海上日動火災保険、東京海上日動システムズ、同仁堂、ドゥ・ハウス、東宝ホーム、東洋証券、トキハ、富田薬品、トモズ、トヨタカラー熊本、トヨタシステムズ、トヨタ部品熊本共販、トライアンフ、ドラッグストアモリ、トランスコスモス、ドン・キホーテ、長野赤十字病院、南星機械、錦町、西田精麦、西田鉄工、ニシムタ、ニチイ学館、日本年金機構、日本郵政、日本ガス、日本航空、日本生命、日本テレメッセージグループ、日本年金機構、日本郵便、任天堂販売、ネクシーズ、ネクステージ、ネットヨタ熊本、農林中央金庫、ハイコム、パナソニック コンシューマーマーケティング、BTV、肥銀コンピュータサービス、肥後銀行、肥後ポリエチレン、ヒューマンアイズ、美容室pikaichi、平田機工、平本和孝土地家屋調査士・行政書士事務所、ファーストリテイリング、ファミリーマート、フォーサイトシステム、福岡銀行、福岡ひびき信用金庫、フジクラプレジジョン、富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー、富士薬品、不二ライトメタル、ブランディングテクノロジー、Bria、古荘本店、フロウエル、プロフェッション・サービス機構、ベスト電器、ベネッセコーポレーション、ヘルスラボ、放送技術社、保健支援センター、ホテル日航熊本、マイティエース、マツハヤ・コーポレーション、丸永製菓、三井住友海上火災保険、三井住友信託銀行、三井ハイテック、三菱食品、宮銀コンピューターサービス、宮崎銀行、みやさん食品、明治安田生命、明和不動産、メガネの大宝堂、メディアサイト、森永乳業九州、山口油屋福太郎、UKデンタル、ユナイテッドアローズ、よかタウン、ヨネザワ、ライフネス、ラウンドワン、リコージャパン、りそな銀行、利他フーズ、リップル、Lib Work、リンナイ、ルートインジャパン、ルネサンス、レイメイ藤井、ワークポート、YSKホールディングス、ワイズヨシハラ、早稲田スクール、国家公務員、地方公務員、公立学校教員(臨採含む)

● 進学

北陸先端技術大学院大学、熊本県立大学大学院、東京大学大学院(法学政治学研究所)

MESSAGE from a Graduate



〔勤務先〕
熊本県赤十字血液センター
献血推進課

2020年3月
総合管理学部総合管理学科卒業
今村 勇太さん
(熊本県立第一高等学校出身)

様々な分野に可能性を感じていた私は、幅広い分野について学ぶことができ、活躍の場を選ばない総合管理学部に魅力を感じ志望しました。入学後、経営の分野に興味を持った私はビジネスコースに進み、ゼミでは財務諸表を用いた経営分析について学びました。履修登録も比較的融通が利くので、アルバイトやサークル活動とも無理なく両立できました。講義以外では、委員会活動に尽力しました。体育委員会では、主に体育系部活動、サークルの活動支援及び新入生歓迎イベントの企画運営を行っています。サマーキャンプの企画運営では、参加者が集まらず苦労しましたが、無事成功に終わり、今では最高の思い出です。

現在は熊本県赤十字血液センターに勤めています。仕事内容は主に献血の推進活動です。毎日様々なところを訪問している献血バスの日程調整や、当日の運営を行っています。私の担当箇所には熊本県立大学も含まれており、卒業後も大学と関わることは非常に光栄です。在学当時在籍していた体育委員会では、学内献血の企画運営も行っていたため、その頃培った献血に関する知識や、企画を運営する力がかなり役立ちました。何事も自分のペースを崩さず、最後までやり遂げられる人が成功すると思います。新型コロナウイルスが蔓延している状況で、思い通りにいかないことも多々あると思いますが、明るい未来を信じて頑張ってください。

卒業生からのメッセージ

MESSAGE from a Graduate



〔勤務先〕
平田機工株式会社

2019年3月
総合管理学部総合管理学科卒業
坂口 美果さん
(文徳高等学校出身)

様々な分野を広く学びたいと考え、総合管理学部を志望しました。入学後はジャンルにとらわれず会計や法律、経営学、情報など興味に応じて受講しました。私は現在、企業のコンプライアンス部門に所属しています。コンプライアンスは法律だけの問題ではなく様々な知識や情報をもとに判断することが求められるため、総合管理学部で学んだ幅広い知識が役立っています。総合管理学部では一つのことに絞って学ぶことも、他分野にわたり知見を広げることもできます。何をしてどこに向かうかはあなた次第です。自由度が高いぶん、自分が何をしたいのかを見定めることが大事になります。私自身、障害児施設でのボランティアや男女共同参画推進活動、スポーツなど多くのことを経験しましたが、それも様々な分野に触れたからこそできたことだと思っています。進むべき道に迷ったときでも、根気強く話を聞き受け入れて下さった先生方には心から感謝しています。

「光る人材はどこにいても光る」。ある教授がおっしゃった言葉です。あなたも総合管理学部できらりと光る自分の可能性を見つけませんか。総合管理学部ではそのきっかけと出会うことができるはずです。

卒業生からのメッセージ

MESSAGE from a Graduate



〔勤務先〕
株式会社熊本計算センター

2020年3月
総合管理学部総合管理学科卒業
砂原 茉衣子さん
(熊本県立第二高等学校出身)

当時、将来就きたい職業や方向性がなかなか定まらなかった私は、文系学部では珍しい情報分野が学べることに加えて、経済・政治など幅広い分野を学部で学べる総合管理学部なら、学びを深めながら自分が進みたい将来が見えてくるのではないかと思います。進学しました。学生生活では、体育委員会やサークルでイベント等の企画・運営を行ったり、学外のボランティアで学生コーチを務めたりと、興味を持ったことには積極的に足を踏み入れていました。また、3年次からは情報系のゼミに所属し、生活の中で感じた身近な問題を解決するためのシステムの開発などを行いました。普段の講義やゼミ活動を通して、システムに携わる職業に就きたいという考えが明確になり、現在は市町村役場向けのシステムを扱うSEとして働いています。普段の業務においても、臨機応変な対応力が求められるお客様との打ち合わせの場面などでは、学生生活の中で培ってきた経験が活かされているなど感じています。

皆さんの中には、私のように、将来何がしたいかまだ定まっていない人もいます。幅広い分野を学び経験することができる総合管理学部なら、実際に学問に触れながら、自分が進みたい道を見つけることができると思います。

卒業生からのメッセージ

大学院

Graduate School

各学部・学科の専門教育を基礎に発展させた、文学研究科、環境共生学研究科、アドミニストレーション研究科の3研究科をそろえています。



文学研究科

Graduate School of Language & Literature

●日本語日本文学専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

Division of Japanese Language & Literature

●英語英米文学専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

Division of English Language & Literature

文学研究科は、多様な価値観がせめぎ合う現代社会の中で、言語・文学研究の成果を人間生活の中に生かしていく方途を模索し、的確に実践していくことを理念としています。専門性を深化させ、英知を磨き、真がんと分別する洞察力を養い、以て人間文化の進展に寄与することを旨とする研究の場です。



日本文学特殊講義

[人材の養成の目的]

文学研究科博士前期課程では、研究領域の専門的知識を修得した高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

文学研究科博士後期課程では、地域における言語文化研究・言語教育研究の拠点としての役割を見据え、各領域の発展的知識や教育実践活動の成果を応用しながら、問題の設定から解決までを独力でできる高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

専攻	課程	入学定員
日本語日本文学専攻	博士前期課程	5名
	博士後期課程	2名
英語英米文学専攻	博士前期課程	5名
	博士後期課程	2名

取得資格(博士前期課程)

- 日本語日本文学専攻 中学校・高等学校教諭専修免許状(国語)
- 英語英米文学専攻 中学校・高等学校教諭専修免許状(英語)

環境共生学研究科

Graduate School of Environmental & Symbiotic Sciences

●環境共生学専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

Division of Environmental & Symbiotic Sciences

環境共生学研究科は、人間と人間を取り巻く生物学的要因・大気・水・森林・土壌・人工物などの非生物学的要因からなる環境とが共生するためのあり方、人間活動を支える場としての豊かな自然を保全し利用する方法、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策などを科学的に追求することを旨とする研究の場です。



食品機能分析学

[人材の養成の目的]

環境共生学研究科博士前期課程では、環境共生学の基本的理念を基にした環境分野の専門的知識と技術を修得した高度専門職業人および環境共生学を実践できる研究者を養成することを目的とします。

環境共生学研究科博士後期課程では、自然と人間活動との共生を具体的に実現していく資源循環型社会の構築に向けて、より総合的で高い専門的知識や技術と実践的能力を併せもつ高度専門職業人および環境共生学を実践できる内外の研究者を養成することを目的とします。

専攻	課程	入学定員
環境共生学専攻	博士前期課程	20名
	博士後期課程	3名

取得資格(博士前期課程)

- 中学校・高等学校教諭専修免許状(理科)
- 中学校・高等学校教諭専修免許状(家庭)

アドミニストレーション研究科

Graduate School of Administrative Studies

●アドミニストレーション専攻(博士前期課程)(博士後期課程)

Division of Administrative Studies

アドミニストレーション研究科は、諸学問の成果を学際的に協働させることで、社会的諸課題を解決するための理論を発展させていくことを旨とする研究の場です。



情報デザイン論特殊講義

[人材の養成の目的]

アドミニストレーション研究科博士前期課程では、複雑・多様化した社会的諸課題を学際的な協働によって実践的に解決していく高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

アドミニストレーション研究科博士後期課程では、複雑・多様化した社会的諸課題を学際的知識と高度な手法を用いて創造的に解決でき、アドミニストレーションの理論の発展を担う高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とします。

専攻	課程	入学定員
アドミニストレーション専攻	博士前期課程	12名
	博士後期課程	2名

取得資格(博士前期課程)

- 中学校教諭専修免許状(社会)
- 高等学校教諭専修免許状(公民)

教員紹介

文学部		日本語日文学科	
学科長・教授 大島 明秀 <i>Oshima Akihide</i> 歴史学	教授 米谷 隆史 <i>Yoneya Takashi</i> 日本語学	准教授 秋葉 多佳子 <i>Akiha Takako</i> 日本語教育学	准教授 小川 晋史 <i>Ogawa Shinji</i> 社会言語学・方言学
副学長・教授 鈴木 元 <i>Suzuki Hajime</i> 日本文学	教授 山田 俊 <i>Yamada Takashi</i> 中国語・中国文化	准教授 羽鳥 隆英 <i>Hatori Takafusa</i> 日本芸能文化論	准教授 五島 慶一 <i>Goto Keiichi</i> 日本文学
教授 半藤 英明 <i>Hando Hideaki</i> 日本語学	准教授 岩田 芳子 <i>Iwata Yoshiko</i> 日本古代文学	准教授 真島 望 <i>Mashima Nozomu</i> 日本近世文学	

文学部		英語英米文学科	
学部長・教授 村尾 治彦 <i>Murao Haruhiko</i> 認知言語学	教授 レイヴィン リチャード <i>Richard Lavin</i> コンピュータ支援英語教育	准教授 田中 和也 <i>Tanaka Kazuya</i> 英語文学	講師 吉田 希依 <i>Yoshida Kei</i> 英語文学
学科長・教授 吉井 誠 <i>Yoshii Makoto</i> 第二言語習得	准教授 武上 富美 <i>Takegami Fumi</i> 英語教育	准教授 石井 佳世 <i>Ishii Kayo</i> 教育心理学	
教授 虹林 慶 <i>Nijibayashi Kei</i> イギリス文学	准教授 原 紘子 <i>Hara Hiroko</i> 英語・異文化コミュニケーション	准教授 難波 美和子 <i>Namba Miwako</i> 比較文学	

環境共生学部		環境共生学科 環境資源学専攻	
学部長・教授 石橋 康弘 <i>Ishibashi Yasuhiro</i> 資源循環化学	教授 小林 淳 <i>Kobayashi Jun</i> 環境分析化学	教授 松添 直隆 <i>Matsuzoe Naotaka</i> 植物生産学	
専攻長・教授 張 代洲 <i>Zhang Daizhou</i> 大気環境学	教授 石村 秀登 <i>Ishimura Hideto</i> 教育学	准教授 小森田 智大 <i>Komorita Tomohiro</i> 海洋生態学	
教授 阿草 哲郎 <i>Agusa Tetsuro</i> 水環境科学	教授 一宮 陸雄 <i>Ichinomiya Mutsuo</i> 海洋資源学	准教授 モロー ジェフリー スチュワート <i>Jeffrey Stewart Morrow</i> 英語教育	

環境共生学部		環境共生学科 居住環境学専攻	
専攻長・教授 高橋 浩伸 <i>Takahashi Hironobu</i> 建築設計・住空間計画学	教授 北原 昭男 <i>Kitahara Akio</i> 木質構造学	教授 柴田 祐 <i>Shibata Yu</i> 地域計画学	准教授 佐藤 哲 <i>Sato Satoshi</i> 建築計画学
教授 田中 昭雄 <i>Tanaka Akio</i> 建築設備工学・建築環境工学	教授 辻原 万規彦 <i>Tsujiyara Makihiko</i> 地域環境調整工学	教授 李 麗 <i>Li Li</i> 居住空間合成構造学	准教授 鄭 一止 <i>Cheong Ilji</i> 都市計画学

環境共生学部		環境共生学科 食健康環境学専攻	
専攻長・教授 松本 直幸 <i>Matsumoto Naoyuki</i> 環境生理学	准教授 阿南 弥寿美 <i>Anan Yasumi</i> 食品安全性学	准教授 坂本 達昭 <i>Sakamoto Tatsuaki</i> 実践栄養教育学	助教 田尻 絵里 <i>Tajiri Eri</i> 食健康環境学
教授 下田 誠也 <i>Shimoda Seiya</i> 臨床病態代謝学	准教授 岸 知子 <i>Kishi Tomoko</i> 公衆栄養学	准教授 田尻 美千子 <i>Tajiri Michiko</i> 家庭科教育・調理科学・食育	助教 中下 千尋 <i>Nakashita Chihiro</i> 食健康環境学
教授 白土 英樹 <i>Shiratsuchi Hideki</i> 食品分析学	准教授 友寄 博子 <i>Tomoyori Hiroko</i> 食品栄養機能学	准教授 中嶋 名菜 <i>Nakashima Nana</i> 給食経営管理学	助教 谷村 綾子 <i>Tanimura Ayako</i> 食健康科学
教授 松崎 弘美 <i>Matsuzaki Hiromi</i> 食品バイオ工学	准教授 吉田 卓矢 <i>Yoshida Takuya</i> 臨床栄養学	准教授 青木 朋子 <i>Aoki Tomoko</i> 身体運動制御学	

総合管理学部		総合管理学科 公共・福祉部門	
学部長・教授 澤田 道夫 <i>Sawada Michio</i> アドミニストレーション論	教授 小泉 和重 <i>Koizumi Kazushige</i> 財政学	准教授 井寺 美穂 <i>Idera Miho</i> パブリック・アドミニストレーション	准教授 松本 千晴 <i>Matsumoto Chiharu</i> 看護学
部門長・教授 上拂 耕生 <i>Ueharai Kousei</i> 行政法	教授 高埜 健 <i>Takano Takeshi</i> 国際関係論	准教授 佐藤 雄一郎 <i>Sato Yuichiro</i> 憲法学	准教授 西森 利樹 <i>Nishimori Toshiki</i> 社会保障法
教授 高濱 信介 <i>Takahama Shinsuke</i> 地方行政論	教授 中尾 富士子 <i>Nakao Fujiko</i> 看護学	准教授 田畑 嘉洋 <i>Tabata Yoshihiro</i> 民法学	講師 関 智弘 <i>Seki Tomohiro</i> 公共経営
教授 江崎 一郎 <i>Esaki Ichiro</i> 社会倫理	准教授 三田 知実 <i>Mita Tomomi</i> 社会学	准教授 安武 綾 <i>Yasutake Aya</i> 福祉政策論	

総合管理学部		総合管理学科 ビジネス部門	
部門長・教授 望月 信幸 <i>Mochizuki Naoyuki</i> 管理会計論	教授 丸山 泰 <i>Maruyama Yasushi</i> マーケティング	准教授 河西 卓弥 <i>Kawanishi Takuya</i> ファイナンス	
教授 井田 貴志 <i>Ida Takanori</i> 経済の基礎理論	准教授 本田 圭市郎 <i>Honda Keichiro</i> 計量経済学	准教授 飯島 賢志 <i>Iijima Kenji</i> 社会統計学	
教授 黄 在南 <i>Huang Jae Nam</i> 経営組織論	准教授 山西 佑季 <i>Yamanishi Yuki</i> 財務会計論	准教授 藤井 資子 <i>Fujii Yoriko</i> 経営戦略論	

総合管理学部		総合管理学科 情報部門	
部門長・教授 宮園 博光 <i>Miyazono Hiromitsu</i> 情報認知科学	教授 津曲 隆 <i>Tsumagari Takashi</i> 情報科学	准教授 岩見 麻子 <i>Iwami Asako</i> 地域情報学	准教授 金井 貴 <i>Kanai Takashi</i> 情報セキュリティ論
教授 飯村 伊智郎 <i>Iimura Ichiro</i> 知能情報学	教授 森山 賀文 <i>Moriyama Yoshifumi</i> 情報学	准教授 石橋 賢 <i>Ishibashi Ken</i> 情報メディア論	准教授 小藪 和剛 <i>Kozono Kazutake</i> プロジェクト・マネジメント

総合管理学部		総合管理学科 基礎総合管理部門		※ () は兼務	
教授 進藤 三雄 <i>Shindo Mitsuo</i> 言語学・コミュニケーション	(江崎 一郎)	(津曲 隆)	(宮園 博光)		
准教授 田中 祐治 <i>Tanaka Yuji</i> 応用言語学	(澤田 道夫)	(丸山 泰)	(小藪 和剛)		

共通教育センター			
センター長・教授 山田 俊 <i>Yamada Takashi</i> 中国語・中国文化	教授 進藤 三雄 <i>Shindo Mitsuo</i> 言語学・コミュニケーション	准教授 石井 佳世 <i>Ishii Kayo</i> 教育心理学	准教授 原 紘子 <i>Hara Hiroko</i> 英語・異文化コミュニケーション
教授 大島 明秀 <i>Oshima Akihide</i> 歴史学	教授 宮園 博光 <i>Miyazono Hiromitsu</i> 情報認知科学	准教授 小藪 和剛 <i>Kozono Kazutake</i> プロジェクト・マネジメント	准教授 モロー ジェフリー スチュワート <i>Jeffrey Stewart Morrow</i> 英語教育
教授 阿草 哲郎 <i>Agusa Tetsuro</i> 水環境科学	教授 石村 秀登 <i>Ishimura Hideto</i> 教育学	准教授 難波 美和子 <i>Namba Miwako</i> 比較文学	
教授 津曲 隆 <i>Tsumagari Takashi</i> 情報科学	准教授 松田 節郎 <i>Matsuda Setsuro</i> データサイエンス	准教授 田中 祐治 <i>Tanaka Yuji</i> 応用言語学	
教授 松本 直幸 <i>Matsumoto Naoyuki</i> 環境生理学	准教授 青木 朋子 <i>Aoki Tomoko</i> 身体運動制御学	准教授 武上 富美 <i>Takegami Fumi</i> 英語教育	



キャリアサポート・学修支援

- キャリアセンター
- キャリアサポート
- デジタルイノベーション推進センター
- 図書館
- 学修支援



キャリアセンター

卒業後の自分を思い描き、その実現に向けて頑張るあなたをサポート

熊本県立大学には、就職活動などの支援を行う「キャリアセンター」があります。キャリアセンターでは、センター長やキャリアコーディネーターが中心となり、学生が自分にあった進路・就職先を選択するための様々な支援を行っています。

進路相談

進路は自分自身の問題です。主体的に考え、行動することが重要です。しかし、自己分析→業界・企業研究→会社説明会→採用試験→内定までの一連の就職活動では、様々な疑問、不安や悩みを感じる事が少なくありません。これは就職だけでなく進学、留学、資格取得などをする場合にも同様のことが言えます。

キャリアセンターではキャリア形成を図るために必要な様々な情報を提供し、進路選択の手助けをするため、就職相談員やキャンパス・キャリア・エンジェルが学生の相談に応じています。

資料閲覧

キャリアセンターでは、求人情報、就職に関連する情報誌、新聞、企業パンフレット、採用試験や各種資格試験案内を閲覧できます。この他にも、先輩達の就活体験が詰まった「受験報告書」、OB・OG訪問の基礎資料となる「就活支援者名簿」など、本学オリジナルの役に立つ情報が閲覧できます。

就職関連書籍や雑誌、新聞等の他、DVDについては、閲覧・貸出(一部不可)ができます。



就職相談員

経験豊かな専任の就職アドバイザーがきめ細やかな就職指導、就職相談を行います。企業情報の収集の仕方、自己PRや志望動機を中心とした履歴書の書き方、受験する企業に焦点を合わせた面接や入室のマナーに至るまで、親身になって支援を行います。

キャンパス・キャリア・エンジェル

卒業後の進路が決定している4年生(「キャンパス・キャリア・エンジェル」)が、自身の学生生活や就職活動を踏まえて、就職活動や進路選択などに関する相談に応じます。

タイムリーな求人情報を提供

大学へ送られてくる求人情報を、学外又は学内パソコン、携帯電話からアクセスし検索することができます。



学生サポート

これまでとは違った環境で過ごす学生生活。自らをコーディネートしていくあなたをサポートします。

学生相談

学業、進路、心と体、生活などに関する相談を受け付けています。内容によって、保健師、臨床心理士、教職員が対応します。また、電話や電子メールでの相談も受け付けています。



下宿・アパート

自宅が遠方の学生にとってアパート・下宿先を探すのは大変です。本学では、本学周辺のアパート・下宿に関する情報を提供しています。仲介手数料がないのもメリットです。

なお、アパート・下宿情報は本学ホームページでも閲覧することができます。

アルバイト

学生支援課では、経済的支援の一環として、学生アルバイトとしてふさわしい仕事のみを厳選し紹介しています。アルバイトは、学業に支障のない範囲で行いましょう。



キャリアサポート

年間を通して多くの学生に利用されているキャリアセンターでは「セミナー」や「ガイダンス」などを開催し学生の4年間を強力にサポートします。

1461日、就職や進学に向けたきめ細やかなサポート



デジタルイノベーション推進センター

高度な情報リテラシーを習得するための教育支援と環境を提供します。

大学生活に欠かすことのできないITの活用を支援するため、サポート窓口を運営しています。パソコン・ネットワーク利用に関する相談受付、パソコン・周辺機器の貸出、在学期間における全学生へのOfficeアプリケーションの無償提供、情報処理実習室(パソコン室)の管理・提供を行っています。

デジタルによる教育研究環境の刷新を推進します。

あらゆる情報の分析・活用を通して情報の価値を最大限に高めるとともに、デジタルの力により、革新的で魅力ある教育研究環境を構築します。

学術情報サービスのIT化を推進します。

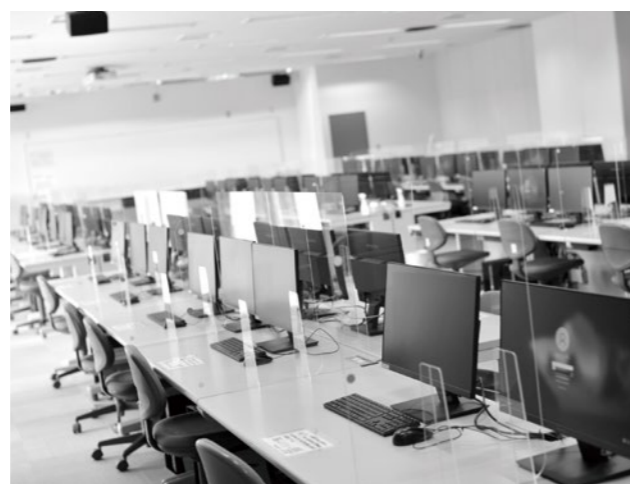
本学情報ネットワーク基盤の整備、管理を行っています。情報セキュリティ対策にも積極的に取り組んでおり、次世代ファイアウォールといった最新の防御装置の導入やシステム監視の強化により、安心安全なネットワーク環境を提供しています。

また、CSIRT(Computer Security Incident Response Team)の実働を担っており、セキュリティ情報の収集や有事の際の対応を行います。



情報処理実習室

高速・大容量のパソコンを計174台設置しており、情報関係の授業で使用するほか、授業で使用しない時間帯には開放しています。この他、環境情報処理演習室にもパソコンを40台設置しています。



図書館

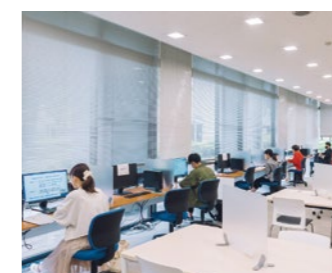
教養から専門まで充実した蔵書と快適な学修環境を提供します。

キャンパスにふりそそぐ柔らかな光をふんだんに取り入れた快適で明るい学習・情報空間です。パソコンコーナー、ラーニングコモンズ、キャレル(個別学習机)など、多様なニーズに応じた学修スペースを用意しています。



雑誌コーナー

三面ガラス張りの明るいくつろげる空間です。国内外の様々な専門誌がそろっています



パソコンコーナー

50台設置しており、学生は自由に利用できます。図書を手元に置いてのレポート作成等のニーズに応えます。

■図書館概要

- 図書収容能力 41万冊
- 閲覧席 約360席
- 蔵書数
図書 約38万冊
- 雑誌・紀要数 約6,000種
- 購読雑誌数 約220種

※令和4年(2022年)3月末現在

学修支援

キャリアフォリオ

卒業後の自分を描く

卒業後の自分を描き、その実現のために大学でどのような知識、経験を積むべきかなど主体的に自らのキャリアを構築していくための方法を「プレゼминаール」や「キャリア形成論」の中で学びます。

また、学生一人ひとりが、大学での学修内容や様々な活動を記録する「キャリアフォリオ(ポートフォリオ)※」を作り、自分の将来のキャリアをデザインする際のツールとして活用します。さらに、就職活動等の際の自己PRのツールとしても活用できます。



キャリアフォリオ
※熊本県立大学では、学修履歴の記録を「キャリアフォリオ」と呼んでいます。

GPA制度

ポイント制による成績評価

成績は、授業科目ごとに、秀、優、良、可、不可の5段階で評価されますが、これに加えて、成績評価システム「GPA(Grade Point Average)制度」を導入しています。GPA制度は、授業科目ごとの成績評価(試験の得点:100点満点)に対し、一定の計算式に基づきポイントを付与し、1単位当たりの平均を算出し、5点満点で評価するものです。

GPAのポイントが特に高い学生は、成績優秀者として表彰されます。逆にポイントが低い成績不振者に対しては、担当教員が個人指導を行います。



GPA制度成績優秀者表彰式

オフィスアワー

Face to Faceできめ細やかな指導

学習や将来の進路など学生の様々な相談に対応するため、教員があらかじめ指定する時間に、学生が研究室を訪問し、相談ができるオフィスアワー制度を導入しています。

もちろんオフィスアワー以外の時間でも、教員が在室しているときは、自由に研究室を訪問できます。また、電子メールで相談することもできます。



オフィスアワー



学生生活

- キャンパスライフ
- サークル活動
- キャンパスマップ
- キャンパス周辺情報
- 学費・奨学金
経済支援



キャンパスライフ

Campus Calendar

- 新入生・在学生オリエンテーション
- 入学式
- 前学期授業開始
- 開学記念日(5月2日)
- PUKリンピック(体育祭)(5月上旬)

● 後学期授業開始
(9月下旬)

4月
April



入学式(4月)

5月
May

- 海外協定校・研修団受入(韓国)
(6月下旬~7月上旬)



PUKリンピック(5月)

6月
June

7月
July

8月
August

- 前学期定期試験
- 夏季休業(8月中旬~9月下旬)
- サマー・ECO・デー(8月中旬)
- 夏季インターンシップ
(8月中旬~9月下旬)
- Intensive English
(8月下旬~9月上旬)

9月
September



祥明大専攻校研修団(6月~7月)



白垂祭(11月)

10月
October

- インターンシップ
発表会

11月
November

- 白垂祭(学園祭)
(11月中旬)

12月
December

- 冬季休業
(12月下旬~1月上旬)

1月
January

2月
February

- 後学期定期試験
- 春季インターンシップ
(2月下旬~3月下旬)
- 海外協定校・研修団派遣
(アメリカ)(2月中旬~3月中旬)

3月
March

- 卒業式
- 春季休業
(3月下旬~4月上旬)



卒業式(3月)



Intensive English「英語合宿」(8月~9月)

学生生活

自宅派



私は、日々の授業で学ぶ楽しさを感じています。そして授業外での活動もとても大切にしています。なぜならそこでは、新たな発見、人との出会いがあるからです。今私は、大学のグローバルラウンジでの活動や地域の図書館でのイベントに積極的に参加しています。その中での実践が、自分の視野、可能性を広げていると感じています。ぜひみなさんも、学生時代だからこそできることにたくさん挑戦して、達成感を感じる学生生活を送ってください。

文学部英語英米文学科2年 中原 暁さん
(熊本信愛女学院高等学校出身)

一人暮らし派



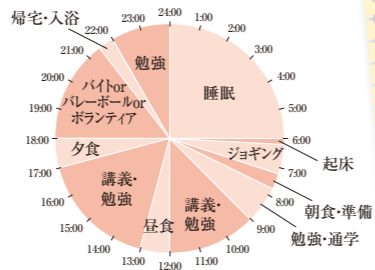
大学生は時間に余裕があります。なので、趣味やバイトなど自分の好きなことに割ける時間も多くなります。ですが、私の学科は管理栄養士を目指すための専門的な講義や実験・実習が多いです。そのため復習や提出物を怠ると後々大変です。大学生は自由な時間が多い反面、ハードなこともしばしば。1人暮らしをしていますが、以前から家事を行っていたので問題なく生活できています。ほぼ毎日自炊をしていますが、作ったことのない料理に挑戦するのが楽しいです。皆さんには人との出会いや関わりを大切にしてほしいです。自分一人ではどうにもならない問題に直面したとき、助けてくれる存在がいるというのは本当に心強いです。たくさんの人と積極的に関わりを持って、充実した生活を送って欲しいです。

環境共生学部環境共生学科 食健康環境学専攻4年 岡 彪吾さん
(鳥根県立松江高等学校出身)

1 年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限		言語基礎論		中国語基礎	中国語基礎
2時限		Seminar For Cultural LiteracyII	Basic EnglishII	英語音声学	
3時限	Advanced EnglishII		新熊本学: ことば表現、歴史		米文学講読 I
4時限	Seminar for Critical ThinkingII		Reading & WritingII		
5時限	英文法II				
6時限	教職論				

ある一日のスケジュール



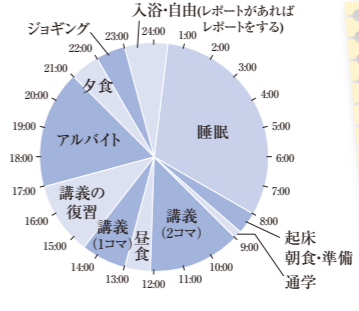
1ヶ月の収支

【収入】	
アルバイト	50,000円
収入合計	50,000円
【支出】	
交際費・趣味	15,000円
車維持費(ガソリン、ETC含む)	15,000円
貯金	20,000円
支出合計	50,000円

3 年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限	栄養情報管理学				
2時限	食品微生物学	給食経営管理学II	健康管理学	疾病論	栄養運動生理学
3時限	栄養機能性学	食品分析学	給食管理実習I	食品分析学実験	臨床栄養治療学
4時限	食品衛生学実験		給食管理実習I	食品分析学実験	
5時限	食品衛生学実験			臨床栄養学実習	臨床治療食実習
6時限				臨床栄養学実習	臨床治療食実習

ある一日のスケジュール



1ヶ月の収支

【収入】	
アルバイト	60,000~70,000円
奨学金	60,000円
収入合計	120,000~130,000円
【支出】	
食費	15,000円
家賃	55,000円
水道光熱費	10,000円
交際費・趣味	20,000円
貯金	20,000~30,000円
支出合計	120,000~130,000円

サークル活動 ともに研ぎ、ともに笑う、仲間たちがここにいる。

学問に励みながら、多くの仲間と出会うのも大学生活の大きな魅力です。サークル活動を通じて、心身ともに研ぎ合うことのできる友をつくる。学問だけでなく、生きることを学ぶ場でもあります。

体育系サークル(24団体)

- Army Combat Engineers(サバイバルゲーム) ● 合気道部
- 一大事(よさこい) ● 弓道部 ● 硬式テニス部 ● サッカー部
- シーズンすぽっつ(スポーツ全般) ● シンパーズ(ソフトボール)
- 女子バスケットボール部 ● 女子バレーボール部 ● 水泳部
- ソフトテニス部 ● ダイビング部 ● 卓球部 ● 探検部
- 男子バレーボール部 ● 男子バスケットボール部
- do DAC(ストリートダンス) ● 軟式野球部 ● バドミントン部
- PUKバド(バドミントン) ● フットサル ● 陸上部
- ワンダーフォーゲル部

体育委員長

総合管理学部総合管理学科3年

志柿 馨さん
(熊本県立大津高等学校出身)



体育委員会では主に、体育会系サークルや部活動を代表して、学校側へ学生の要望を伝える架け橋のような役割を担っています。皆さんのお気づきやご要望等、お気軽にお申し付けください。皆さんの学生生活がより豊かなものになるように尽力致します。また、昨年に引き続きコロナウイルスの影響で十分な活動は出来ていませんが、通常時は体育委員会主催の1年生のみを対象とした2泊3日のサマーキャンプ等を始めとして、委員会内や学校全体の親睦を深めるイベント活動も企画しています。皆様の多くのご参加お待ちしております。



文化系サークル(20団体)

- 歌唄(アカペラ) ● 映像研究部 ● MR研究会 ● 合唱部
- 建築デザイン部 ● 茶道・着物礼法部 ● 写真部
- 植物資源利用研究会 ● 書道部 ● 吹奏楽部 ● 箏曲部
- テーブルゲームサークル ● 天文部 ● 美術部 ● フォークソング研究部
- ぶくはび ● 文芸部 ● Maple Leaves(ボランティア)
- merci(創作いけばな) ● 歴史研究会

文化委員長

文学部日本語日文学科3年

津村 珠里さん
(福岡県立京都高等学校出身)



文化委員会は、熊本県立大学の文化サークルや同好会のサポート、学生自治会からの諸連絡を各サークルへ伝達する役割を担っています。また、新入生歓迎オリエンテーションや白亜祭などの企画・運営にも携わっています。大学生活は俗に人生の夏休みと呼ばれるほど時間にゆとりが持てる期間だと思います。それをより豊かで充実させてくれるものの一つがサークル活動ではないでしょうか。皆さんに興味が湧くサークルが見つかることを祈っています。



※サークル団体数は2022年3月現在

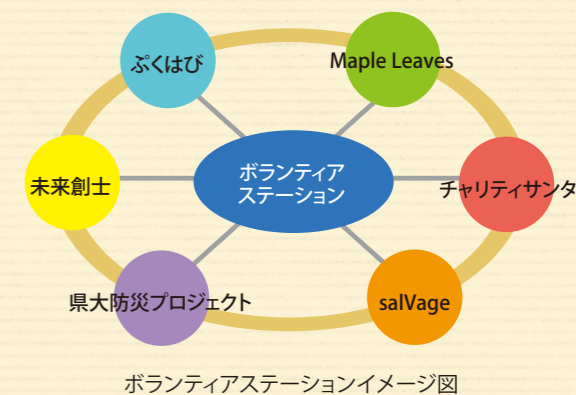
ボランティア活動

ボランティア活動は、公共福祉の観点から共助精神の涵養に資するものとして極めて意義深いものであり、また授業では学べない多くの体験ができるため、自己形成の上で極めて重要です。

ボランティアステーション

本学ではボランティア活動を支援する「ボランティアステーション」を設置しています。ステーションには、各種イベント運営などに参加する「Maple Leaves」、規格外野菜の活用を考える「SalVage～規格外野菜を救い隊～」、熊本地震の体験を生かして防災啓発する「県大防災プロジェクト」、人吉球磨の地域づくりに取り組む「未来創士」、子どもたちにクリスマスプレゼントを届ける「チャリティーサンタ」、海外での活動にも参加する「ぶくはび」などが加入しており、情報交換しながら合同イベントも開催しています。

また、被災地支援や地域防災を目的とする「公立大学学生ネットワーク(LINKtopos)」の全国学生大会にも参加しています。



ボランティアステーションのHPはこちら



「県大防災プロジェクト」の活動

総合管理学部総合管理学科3年

野尻 駿さん (熊本県立高森高等学校出身)



県大防災プロジェクトは、熊本県内の未災地にて、熊本地震についての体験や災害に備えてもらう活動をしています。昨年は、新型コロナウイルスによる影響で、対面でのイベントを行うことが難しい状況にありました。そのため、オンラインでの防災イベントや、感染症対策を行った防災ゲームイベントを行いました。また、オンライン上での防災ゲームイベントも予定しています。防災への興味がある人や自分の能力を高めたい人、地域での活動を行ってみたい人などなど、大歓迎です。大学生になって何か始めたいと思ったら、ぜひ、興味のあることに挑戦してみてください。

「チャリティーサンタ」の活動

総合管理学部総合管理学科2年

萩元 秀丞さん (熊本県立熊本西高等学校出身)



チャリティーサンタ熊本支部では、依頼されたご家庭へクリスマスイブ(12/24)にサンタとして訪問し、プレゼントを届ける活動を行っています。また保育園等から依頼を受けて、パーティ訪問も行っています。これらの活動を「イブ活動」と呼び、学生の運営メンバーでイブ活動に向けて訪問の準備を進めながら、当日ボランティアとご家庭の募集を行います。運営メンバーとなった学生は4月から活動をスタートし、支部内交流会、企画立案、告知イベント実施等年間を通しての活動を行っています。

食育活動

食に関する体験研修や講義、イベントなどを環境共生学部内にある食育推進室が中心になって定期的に開催しています。あなたも参加してみませんか？

たべラボ活動

熊本県内のさまざまな地域の食の魅力探し、イベント企画、学食でのメニュー開発プロデュースなどを行っていて、自らの食生活・生活習慣のスキルアップと学内外への食育を実施する学部横断的な学生グループです。



食の魅力発見ワークショップ

野菜や出汁、お菓子作りなど様々なワークショップを対面とオンラインを併用して実施しています。



自炊力UPプロジェクト(動画配信)

「一人暮らしの小さなキッチンでもできる料理」をテーマに自炊力をあげるコンテンツを動画配信しています。



もぐ丸かんたん料理コンテスト

学生の企画により、SNSを活用した料理コンテストを実施しました。審査会は有志のたべラボメンバーで行いました。

食育の日

大学生が地域の食材について学び、その食材を使った学食メニューを考案し提供しています。毎月19日前後に開催しており、学生や教職員に好評です。



実地研修で食材について学ぶ



メニューの試作



当日メニュー

食育・健康フェスティバル

毎年1回、本学の食育の取組や成果を学内外へ向けて発信することを目的に開催しています。(令和3年度はオンライン公開講演会として実施)



保健センター

保健センターは、学生が充実した学生生活を送ることができるよう、心身の健康管理を行うとともに、修学上あるいは生活上の様々な悩みごとに関する相談業務を行っています。学内で具合が悪くなったり、怪我をした場合は、休養や簡単な応急手当を受けることができます。

定期健康診断

全学年を対象として定期健康診断を行っています。健康診断は学校保健法により、年1回必ず受診することになっておりますので、生活習慣の改善に役立ててください。必要に応じて、健康管理の支援をします。



学生相談

充実した学生生活を送れるよう、学生相談を行っています。なにか困ったことがあれば、一人で悩まず気軽にご相談ください。保健師と臨床心理士が様々な相談に応じています。必要に応じ教員や事務局と連携してサポートします。



地域・研究連携センター

地域・研究連携センターは、本学の教育研究資源を地域に繋ぐコーディネート機能や、授業公開講座など大学ならではの学びの場を地域に提供する役割を担うとともに、大学の研究力の向上に務め、「地域とともに生きる」熊本県立大学の地域貢献を推進します。

地域連携部門

地域からの様々な相談に対応し、本学の教育研究資源とのマッチングを図ります。また、包括協定の締結や産学官連携など地域連携の取組みを推進します。

地域学習部門

授業公開講座、各種公開講座の開催や、職業人の学び直しとして、CPDプログラム(Continuing Professional Development 継続的専門職能開発)を推進します。

研究支援部門

国の科学研究費助成事業を活用した研究や、企業、団体、自治体等の外部資金を活用した受託研究・共同研究の円滑な推進を支援します。



地域ラブラトリー



県大の研究室や地域貢献活動を紹介するサイトです。是非ご覧ください。



学内を網羅するデジタル環境

学内無線LANのアクセスポイントは、教室や演習室、研究室など約420箇所に設置しており、うち300箇所は最新のWi-fi6(IEEE 802.11ax)対応になっていますので、安定して快適に使用できます。また、各教室にはWeb配信・収録設備を設置しており、対面・遠隔併用のハイブリッド授業の実施が可能です。



モニュメント「宙(sora)」

兄玉士洋氏作。
物質社会(柱)と精神社会(球)のバランスのとれた様を表し、若者の無限の可能性が宙へと伸びるようという願いがこめられています。



モニュメント「オーバルカラム」

松尾光伸氏作。
土筆をイメージしたフォルムが若者の成長を、32面の楕円球がアルファベットと記号を表現しています。



モニュメント「大地」

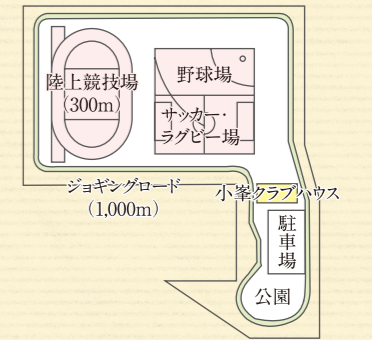
兄玉士洋氏作。
自然と文明の融合による緊張と安定を表現。大地や水などの自然のパワーとエネルギーがテーマとなっています。



ブロンズ像「視」

石原昌一氏作。
1980年に、創立30周年と新キャンパス建設を祝って同窓会紫苑会から贈られたブロンズ像です。

小峯グラウンド (所在地 熊本市東区小峯3丁目2613-1)



キャンパスから約2kmの近距離にある野球場、サッカー兼ラグビー場、300mトラックを兼ね備えたグラウンドです。また、グラウンドを囲った1,000mのジョギングロードがあり、一般にも開放しています。

1 本部棟

事務局各課・室(1階に教務入試課、学生支援課、IR室、2階に総務課、企画調整室)などがあります。

2 中ホール

300人収容のホールです。国際会議に対応するため、同時通訳ブースを設置しています。

3 キャリアセンター

キャリアセンター、トレーニングルームなどがあります。
■キャリアセンター
就職情報などの提供ときめ細やかな相談・指導など、学生一人ひとりの夢の実現に向けた(総合的な)キャリアサポートを行っています。→P59
■トレーニングルーム
学生・教職員の健康増進のためウエイトや各種マシンでトレーニングができます。

4 サブアリーナ 5 CPDホール

サブアリーナは1階に体育館、2階に弓道場があります。CPDホールは、収容人数が105人(うち固定席60席)規模の講義室で、150インチスクリーンを備えています。



6 アリーナ



1階には、柔剣道場などがあります。2階にはバレーボールコート2面分のスペースを有するアリーナがあります。

7 学生会館

学生食堂、書籍・売店、共通教育センター(→P21)があります。



■学生食堂

カフェテリアスタイルで、ガラス張りの吹き抜けとなっている明るい学食です。人気メニューは、日替りのランチやカレーです。

■書籍・売店

書籍や文具、事務用品の販売はもちろん、引越、旅行の予約・貸衣装、自動車学校の申込など便利な取次サービスも行っています。

8 講義棟1号館



小規模の講義室が12室あり、1階に学生ロビーと食育推進室、ボランティアステーションがあります。

9 小ホール・保健センター

中規模ながらフォーラムなども開催できる140人収容のホールです。また、応急手当や休養、学生相談ができる保健センターがあります。

10 文学部棟



文学部の教員研究室、ゼミ室、資料室などがあります。

11 環境共生学部西棟

環境共生学部(主に居住環境学専攻・食健康環境学専攻)の教員研究室、各種実験実習室などがあります。

12 18 環境共生学部北棟・南棟



北棟と南棟からなり、環境共生学部(主に環境資源学専攻)の教員研究室、各種実験室などがあります。太陽光発電と雨水利用システムを備えるなど環境に配慮した施設です。

14 構造実験棟

環境共生学部の構造実験室、材料実験室があります。

15 グローカル棟

1階には地域・研究連携センターと緑の流域治水研究室があり、2階には国際教育交流センターがあります。

16 図書館

ガラス張りの塔が印象的な図書館は、収容能力41万冊、蔵書数約38万冊を誇ります。本学の学生や教職員をはじめ広く一般にも公開し、地域の図書館として利用されています。→P65

17 講義棟2号館

4つの中講義室と7つの小講義室があるほか、情報処理実習室1室があります。

18 大ホール



350人収容のホールです。200インチスクリーンによりPCなどを利用した講義が可能です。

19 総合管理学部棟



総合管理学部の教員研究室、ゼミ室、資料室などがあります。また、1階には情報ネットワークの中核であるデジタルイノベーション推進センターのほか、情報処理実習室2室があります。

20 第1クラブ室

21 第2クラブ室

A キャンパスプラザ



本部棟と講義棟1号館、学生会館の間に広がるオープンスペース。赤レンガと草木のコントラストの美しさが自慢です。モニュメント「大地」やブロンズ像「視」もあります。

B アカデミックプラザ



図書館と大ホールの間にひろがる、憩いと語らいのオープンスペース。図書館のガラス張りの塔とモニュメント「宙(sora)」が印象的な空間です。

C テニスコート



夜間照明を備えたテニスコートが6面あります。

D キャンパスギャラリー



E プール

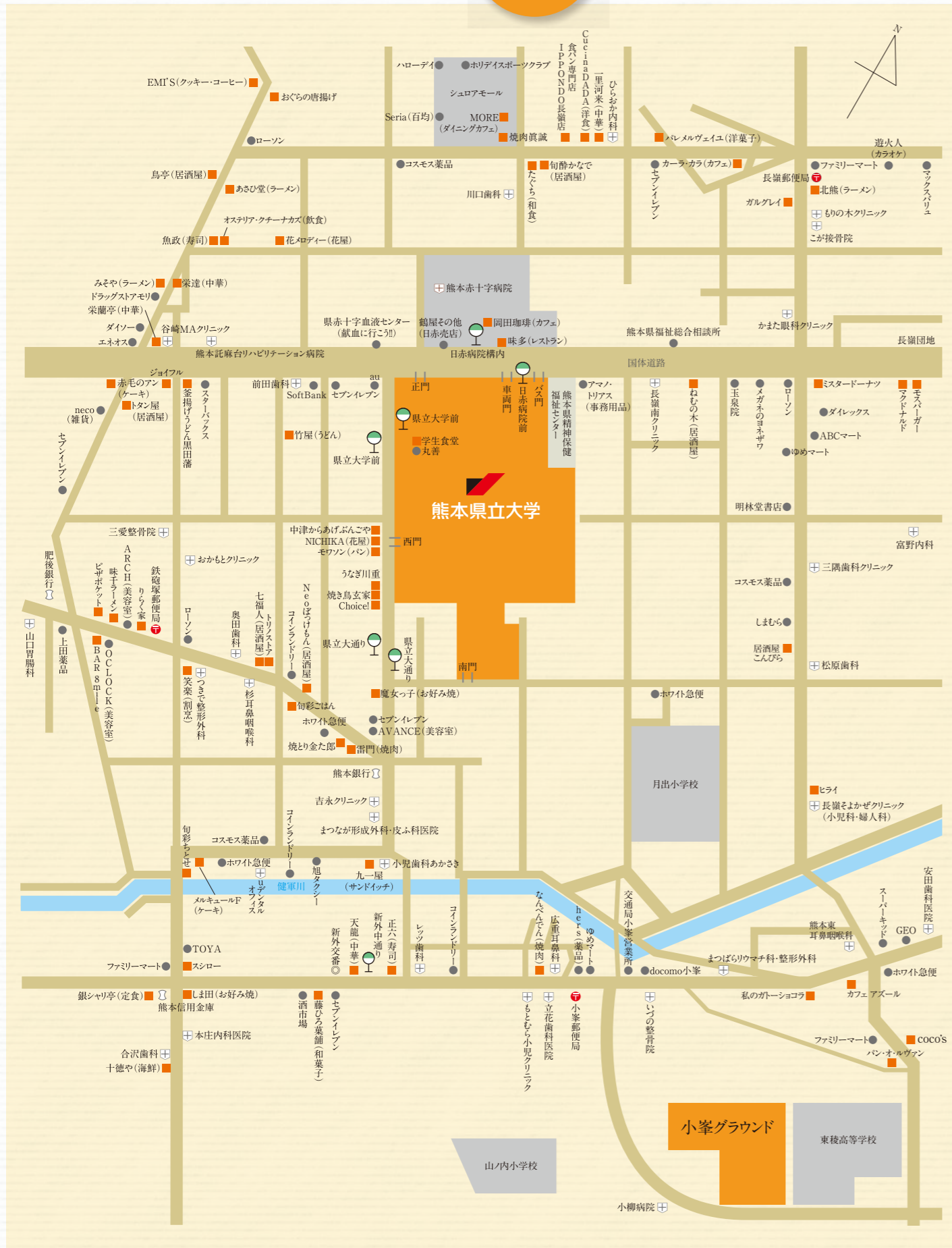
アリーナに併設されている屋外プール(25m・7コース)です。

F 月出フィールド

キャンパス周辺情報

熊本市
東区月出
エリア

熊本県立大学がある月出界隈は、衣・食・住のバランスのとれたアメニティタウンです！



学費・奨学金・経済支援

大学で学ぶには、何かとお金がかかるもの。熊本県立大学では、独自の奨学金制度「熊本県立大学奨学金」を創設するなど支援制度の充実に取り組んでいます。併せて授業料徴収猶予・減免制度など、経済支援制度も設けています。

◎学費

種別	入学金 (入学手続き時に納入)	授業料 2期に分けて口座引き落とし
県内	207,000円	年額 535,800円 (各期267,900円×2期)
県外	414,000円	

※上記の金額は、2022年度のもので、
※入学金、授業料のほか、後援会費として67,000円(4年間分を入学時に一括納入)が必要です。他に学部により実習費、学会費や保険料(5,000円程度)が必要です。

◎授業料徴収猶予・月額払・減免制度

経済的理由、不慮の事故、疾病、その他やむを得ない特別な事情により、期限までに授業料の納付が困難な場合、徴収猶予(納付期限の延長)又は月額による納付(年額の12分の1を毎月納付)の許可を受けることができます。

また、一定の成績基準や家計基準を満たしている場合、申請により授業料が免除される場合があります。

さらに、学費負担者が年度途中で死亡、又は災害、事故、長期療養などにより生活に困窮し、授業料の納付が困難になった場合の減免制度もあります。

◎入学金納付時期猶予制度

日本学生支援機構の入学時特別増額貸与奨学金を受給する学生や、修学支援法の予約採用者については、入学金の納付時期が猶予されます。

◎大学院入学金免除制度

本学の学部を卒業し、本学大学院への進学を希望する者のうち、一定の条件を満たす者については入学金が免除されます。

◎熊本県立大学奨学金

本学では有為な人材を育成するため、熊本県立大学未来基金への寄附金等を活用しながら、本学独自の奨学金制度を設け、学生の修学を支援しています。

名称	対象	金額	期間
同窓会紫苑会奨学金	学業成績・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由から修学が困難と認められる者(学部全学年より毎年10人程度)	年額20万円	1年
短期派遣留学生支援奨学金	学生交流に関する協定に基づき、1年以内の期間派遣される者(毎年度3人以内、ただし米国への1ヶ月未満の派遣はこの限りではない)	月額6万円から10万円 ※派遣先大学の所在地による	派遣先で修学する期間
小江梅子奨学金	文学部英語英米文学科又は文学部研究科英語英米文学専攻に在籍する者で一定期間以上の海外留学・研修を行うもの	1回5万円から10万円 ※同一学生の奨学金は、文学部在籍時と文学部研究科在籍時のそれぞれについて、10万円をその上限額とする。	30日以上

※熊本県立大学奨学金の併給は認められませんが、日本学生支援機構奨学金等との併給は可能です。

◎日本学生支援機構奨学金

(独)日本学生支援機構が実施している奨学金制度です。

名称	種類	対象	金額	期間
貸与奨学金	第一種奨学金 (無利子)	学部*1 (H30年度以降に入学者)	自宅通学 月額20,000円、30,000円または45,000円*2 自宅外通学 月額20,000円、30,000円、40,000円または51,000円*2	4年
		大学院	博士前期 月額50,000円または88,000円 博士後期 月額80,000円または122,000円	2年 3年
	第二種奨学金 (有利子)	学部	月額2万円～12万円(1万円刻み)	4年
		大学院	博士前期 月額5万円、8万円、10万円、13万円または15万円 博士後期 月額5万円、8万円、10万円、13万円または15万円	2年 3年
給付奨学金	給付*3	学部	自宅通学 月額29,200円(市町村民税所得割非課税世帯の場合)*4 自宅外通学 月額66,700円(市町村民税所得割非課税世帯の場合)*4	4年

※1. 学部の第一種奨学金は、修学支援法に基づく給付奨学金受給中、貸与額が減額(または増額)される場合があります。

※2. 申込時の家計収入が一定額以上の場合は、最高月額を選択不可。

※3. 給付奨学金受給者は、申請により、給付奨学金の支援区分に応じ授業料等が減免されます(修学支援法に基づく授業料減免)。

※4. 市町村民税所得割課税世帯の場合は、課税額に応じて2/3・1/3の給付奨学金を受けられる場合があります。

◎その他の奨学金

熊本県有英資金、熊本市奨学金など各都道府県・民間団体の奨学金制度がありますので学生支援課へお気軽にご相談ください。

入試情報

熊本県立大学の入試情報は、ホームページに集約されています。
出願期間、合格発表はもちろん、過去5年間の志願者数、競争率などの気になる情報が満載です。
入試について調べたい場合は是非ホームページをご覧ください。

熊本県立大学
入試情報ホームページ <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination/>

■入試の日程 (2023年度入試よりオンライン出願を予定しています)

	一般選抜 (個別学力検査)	総合管理学部 自己推薦型選抜	環境共生学部 環境共生学科 居住環境学専攻 自己推薦型選抜	特別選抜	
				学校推薦型選抜 社会人選抜 帰国子女選抜	私費外国人留学生選抜
出願期間	2023年1月23日(月) 2023年2月1日(水)	2022年9月8日(木) 2022年9月16日(金)	2022年9月12日(月) 2022年9月16日(金)	〈学校推薦型選抜〉 2022年11月7日(月) 2022年11月11日(金) 〈社会人選抜・ 帰国子女選抜〉 2022年11月1日(火) 2022年11月8日(火)	2023年1月5日(木) 2023年1月12日(木)
選抜期日	前期日程 2023年2月25日(土) 後期日程 2023年3月12日(日)	第一次選考 2022年10月15日(土) 第二次選考 2022年10月16日(日) (注)	2022年10月15日(土) 10月16日(日) (注)	2022年12月4日(日)	2023年2月4日(土)
合格発表	前期日程 2023年3月5日(日) 後期日程 2023年3月20日(月)	2022年11月1日(火)	2022年11月1日(火)	2022年12月12日(月)	2023年2月20日(月)
入学手続	前期日程 2023年3月8日(水) 2023年3月15日(水) 後期日程 2023年3月22日(水) 2023年3月27日(月)	合格通知書到着後 2022年11月10日(木)	合格通知書到着後 2022年11月10日(木)	合格通知書到着後 2022年12月21日(水)	2023年3月13日(月) 2023年3月17日(金)
募集要項の 公表予定時期	11月上旬(予定)	7月上旬(予定)	7月上旬(予定)	8月上旬(予定)	8月上旬(予定)

注…不測の事態の発生により上記期日に試験実施が困難になった場合に備え、2022年10月22日(土)、23日(日)を選抜予備日とします。

■入学定員及び募集人員

学 部	学 科 専 攻	入学 定員	募 集 人 員						
			一般選抜		自己推薦型 選抜	特別選抜			
			前期日程	後期日程		学校推薦型選抜		社会人選抜・ 帰国子女選抜・ 私費外国人 留学生選抜	
文 学 部	日本語日本文学科	45	30	10	-	5	-		-
	英語英米文学科	45	28	10	-	7	-	-	若干名
環境共生学部	環境資源学専攻	110	15	12	-	3 (うち2名以上は熊本県内高等学校卒※1)		若干名 ※2	県内 2名 以内
	居住環境学専攻		20	12	4	4	-	-	
	食健康環境学専攻		28	8	-	4	-	-	
総合管理学部	総合管理学科	280	A方式30 B方式60	A方式40 B方式50	50	50	-	-	若干名
合 計		480	211	142	54	73			若干名

※1…熊本県内高等学校卒業見込みの者

※2…高等学校及び中等教育学校の農業、林業又は水産科に関する学科を卒業見込みで一定の要件を満たす者

■一般選抜結果(2020~2022年度)

学部	学 科 専 攻	方 式	2022年度						2021年度	2020年度	2022年度			
			募集 人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	実質競争率 (A/B)	実質 競争率	実質 競争率	満点	合格者 最高点	合格者 最低点	合格者 平均点	
文 学 部	日本語日本文学科	前 期	30	112	110	33	3.3	2.6	3.1	900	701.4	580.2	611.7	
		後 期	10	99	42	14	3.0	2.9	2.6	800	589.6	507.6	541.1	
		学科計	40	211	152	47	3.2	2.7	3.0					
	英語英米文学科	前 期	28	86	80	35	2.3	1.4	2.8	900	663.6	568.2	603.3	
		後 期	10	134	47	17	2.8	1.8	1.8	900	698.6	584.2	623.3	
		学科計	38	220	127	52	2.4	1.5	2.4					
学部計		78	431	279	99	2.8	2.1	2.7						
環境共生学部	環境資源学 専攻	前 期	15	49	46	17	2.7	2.5	1.8	1300	857.6	736.0	768.0	
		後 期	12	153	53	13	4.1	2.2	3.4	1200	753.0	643.5	686.3	
		専攻計	27	202	99	30	3.3	2.4	2.6					
	居住環境学 専攻	前 期	20	87	82	21	3.9	2.3	2.8	1300	867.6	767.2	808.7	
		後 期	12	150	66	13	5.1	2.2	4.3	1300	890.0	815.4	845.3	
		専攻計	32	237	148	34	4.4	2.3	3.4					
	食健康環境学 専攻	前 期	28	71	68	30	2.3	2.0	2.6	1300	933.8	744.8	787.8	
		後 期	8	85	31	11	2.8	2.4	2.9	1300	912.0	707.4	770.2	
		専攻計	36	156	99	41	2.4	2.1	2.7					
学部計		95	595	346	105	3.3	2.2	2.9						
総合管理学部	総合管理学科	前期A	30	139	135	35	3.9	4.1	3.6	600	399.7	333.5	353.4	
		前期B	60	181	176	74	2.4	2.7	3.1	600	467.8	368.1	394.4	
		後期A	40	341	144	51	2.8	2.9	3.1	600	461.0	353.6	379.7	
		後期B	50	244	103	62	1.7	3.1	2.3	600	483.1	369.0	406.8	
	学部計		180	905	558	222	2.5	3.1	3.0					
合 計		前 期	211	725	697	245	2.8	2.5	2.9					
		後 期	142	1206	486	181	2.7	2.7	2.8					
		計	353	1931	1183	426	2.8	2.6	2.9					

※大学入学共通テストと個別学力検査の合計点です。調査書得点は含みません。
※追試験合格者及び追加合格者については数値に含めていません。

■自己推薦型選抜(環境共生学部・総合管理学部)結果(2022年度)

学 部	学 科 専 攻	募集人員	志願者数	受験者数	第1次選考		第2次選考	
					合格者数	競争率	合格者数	競争率
環 境 共 生 学 部	環境共生学科居住環境学専攻	4	16	16	4	4.0	-	-
総 合 管 理 学 部	総合管理学科	50	191	190	98	1.9	50	3.8

■特別選抜(学校推薦型選抜)結果(2022年度)

学 部	学 科 専 攻	志願者数	受験者数	合格者数
文 学 部	日本語日本文学科	7	7	5
	英語英米文学科	13	13	7
環 境 共 生 学 部	環境資源学専攻	8	8	3
	居住環境学専攻	10	10	4
	食健康環境学専攻	21	21	5
総 合 管 理 学 部	総合管理学科	84	84	50
合 計		143	143	74

よくある質問

Q1. 熊本県内高校出身者の割合はどのくらいですか。

2022年度入学者全体でみると、熊本県内高校出身者が占める割合は74.6%です。

九州・沖縄地区出身高校の入学生数

※2022年度入学生

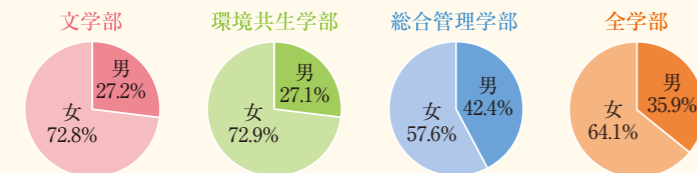
■入学者出身高校の所在地別データ(2022年度)

(人)

		九州・沖縄地区										合計	
		九州 圏外	九州 圏内	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県		その他
全学部	男	4	180	9	3	2	154	5	3	4	0	1	185
	女	13	318	22	10	12	231	13	15	14	1	0	331
	合計	17	498	31	13	14	385	18	18	18	1	1	516

※その他は、外国の学校卒、高卒認定等

■入学者の男女の割合(2022年度)



Q2. 資料請求をしたいのですが、どのような方法がありますか。

大学案内(本冊子)及び入学者選抜概要は次の3つの方法で入手できます。

① テレメールで請求

- 自動音声応答電話の場合 IP電話 050-8601-0101
(※一般回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。)
- パソコン・スマホ・携帯電話の場合 <http://telemail.jp>
スマホ・携帯電話でQRコードをよみとってアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。



①の請求方法についての問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター
電話 050-8601-0102
(受付時間: 9時30分~18時)

② 本学に郵便で請求

角形2号(A4サイズの冊子が入るもの)の返信用封筒に、送料分の切手(特別選抜は310円、他は215円)を貼付の上、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記し、裏表紙記載の住所までお送りください。なお、往信用封筒の表に「大学案内請求」又は「入学者選抜概要請求」と朱書きしてください。

③ 本学教務入試課で入手

本部棟ロビーで配布(設置)しております。土日祝日も来学の上、自由にお持ち帰りください。なお、各入学者選抜の募集要項の公表時期は次のとおりです。冊子での配布は行いませんので、本学のホームページからダウンロードしてください。

- 自己推薦型選抜 7月上旬(予定)
- 学校推薦型選抜 8月上旬(予定)
- 一般選抜 11月上旬(予定)

Q3. 過去の入試問題は閲覧できますか。

本学教務入試課までお越しいただければ、閲覧いただくことは可能ですので、教務入試課入試班に電話(096-321-6610)でお問い合わせください。

熊本県立大学をもっと知りたい方へ

本学では、高校生の皆さんや保護者の方々及び先生方に、本学をさらにご理解いただけるような様々な入試広報を展開しております。

申し込み条件・手順等、詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。

来場型オープンキャンパス

2022年7月17日(日)・18日(月・祝)(予定)

進学相談会 4月~10月

高校訪問 5月~9月

出張講義 4月~8月

学内見学 4月~10月

※新型コロナウイルス感染症の影響により、各入試広報は中止・延期・内容変更などの可能性があります。最新の情報は本学ホームページにてご確認ください。

WEBオープンキャンパス

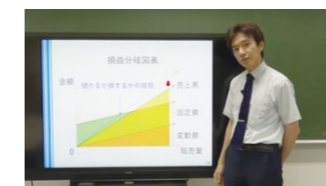
絶賛
公開中!



いつでもどこからでも参加できるオープンキャンパスとして、「熊本県立大学WEBオープンキャンパス」ホームページを公開中です。高校生の皆さんに向けた大学教員による模擬授業や学生インタビューのほか、熊本県立大学のキャンパスを360°体感できる360°キャンパスツアーやサークル紹介など、熊本県立大学をさらに知っていただけるような様々なコンテンツをご用意しています。

※2022年5月現在の掲載情報です。

大学教員による模擬授業



学生インタビュー



アクセスはこちらから
熊本県立大学WEBオープンキャンパス
URL <https://puk-oc.jp>



アクセスマップ



マイカー・タクシーによるアクセス

- 熊本ICから 約15分(約4.3km)
- JR熊本駅から 約25分(約8.2km)
- 益城熊本空港ICから 約10分(約4km)
- JR水前寺駅から 約15分(約4.2km)
- 阿蘇くまもと空港から 約25分(約13km)

バスによるアクセス

桜町バスターミナルから

15番のりば

- 都市バス「長嶺小学校」行、「免許センター」行〔G1-4〕、〔G1-5〕表示
「日赤病院前」バス停下車(約30分)。そこから徒歩1分

26番のりば

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行〔H1-1〕、〔H2-1〕、〔H3-1〕表示
「県立大通り」又は「県立大学前」バス停下車(約40分)。そこから徒歩1分

JR熊本駅方面から

- バスにより桜町バスターミナル下車(約10分)
- 市電により幸島町電停下車(約10分)、その後桜町バスターミナルまで徒歩約2分

JR新水前寺駅方面「水前寺駅通り」バス停(スーパーマーケット前)から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車〔H2-1〕、〔H3-1〕表示
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分

JR水前寺駅方面南口「水前寺駅前」バス停から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車〔H2-1〕表示
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分

JR水前寺駅方面北口「熊高正門前」バス停から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車〔H1-1〕、〔H4-1〕表示
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車(約20分)。そこから徒歩1分

熊本県立大学

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL 096-383-2929(代) FAX 096-384-6765

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/>
E-mail: kyoumu@pu-kumamoto.ac.jp

熊本県立大学

検索



この印刷物は環境に
配慮して植物油インキを
使用しています。